





Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④ 鉄筋の継手, ⑤ 圧接完了後の検査) and Description/Requirements (e.g., 片持スラブの基準配筋, 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 11 耐火被覆, 12 柱底均しモルタル) and Description/Requirements (e.g., 耐火被覆の種類, 柱底均しモルタルの仕様).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑥ コンクリートの強度, ⑦ 鉄骨の製作所) and Description/Requirements (e.g., 設計基準強度 Fc, 鉄骨製作所認定グレード).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑧ アスファルト防水, ⑨ 改質アスファルトシート防水) and Description/Requirements (e.g., 防水層の種類, 改質アスファルトシートの仕様).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 7 鉄骨の製作所, 8 ターンバックル) and Description/Requirements (e.g., 構造物製作認定工場の認定グレード, ターンバックルの種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 10 防火被覆, 11 耐火被覆) and Description/Requirements (e.g., 耐火被覆の種類, 防火被覆の仕様).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 10 石材, 11 材料) and Description/Requirements (e.g., 石材の種類・品質, 材料の種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 12 木材) and Description/Requirements (e.g., 木材の使用について, 木材の含水率).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 5 集材材) and Description/Requirements (e.g., 集材材の種類, 強度等級).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 6 壁・天井張り用合板) and Description/Requirements (e.g., 合板の仕様, 壁・天井張り用合板の種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 13 長尺金属板) and Description/Requirements (e.g., 屋根葺き形式, 金属板の種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 2 折板) and Description/Requirements (e.g., 折板の種類, 屋根葺き形式).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ④ 工法, ⑤ 警止め金物) and Description/Requirements (e.g., 建築基準法に基づき定められた区分, 警止め金物の仕様).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑭ ステンレスの種類, アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理) and Description/Requirements (e.g., ステンレスの種類, アルミニウム合金の仕様).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 7 アルミニウム製窓木, エクステンションジョイント) and Description/Requirements (e.g., アルミニウム製窓木の仕様, エクステンションジョイントの種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., ⑮ モルタル塗り床目地, セルフレベリング材) and Description/Requirements (e.g., モルタル塗り床目地の仕様, セルフレベリング材の種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 4 ロックウール吹付) and Description/Requirements (e.g., ロックウール吹付の仕様, 防水モルタルの種類).

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 4 ロックウール吹付) and Description/Requirements (e.g., ロックウール吹付の仕様, 防水モルタルの種類).

Table with 2 columns: Section (年度, 工事名, 図面名, 縮尺) and Content (令和6年度, 新三沢送水ポンプ場築造工事, 特記仕様書(2), 1, 図面番号, A-02).

16 アルミニウム建具
17 鋼製建具
18 鋼製軽量建具
19 ステンレス製建具
20 木製建具
21 自動ドア閉閉装置
22 自閉式上吊り引戸装置
23 重量シャッター
24 軽量シャッター
25 オーバーヘッドドア
26 鋼製バルコニー
27 ガラス窓材
28 建具金物
29 鍵
30 トイレブース
31 電気錠

1 金属系付着剤
2 塗料
3 一般塗料
4 特殊塗料

1 ビニルタイル貼
2 特殊機能床材
3 ビニル巾木
4 カーペット敷き

5 合成樹脂床床
6 防塵床
7 フローリング張り
8 畳敷き
9 断熱材打ち込み工法
10 グラスウールボード
11 防音材
12 防音材
13 防音材
14 防音材
15 防音材
16 防音材
17 防音材
18 防音材
19 防音材
20 防音材
21 防音材
22 防音材
23 防音材
24 防音材
25 防音材
26 防音材
27 防音材
28 防音材
29 防音材
30 防音材
31 防音材

1 グラスウールボード
2 防音材
3 防音材
4 防音材
5 防音材
6 防音材
7 防音材
8 防音材
9 防音材
10 防音材
11 防音材
12 防音材
13 防音材
14 防音材
15 防音材
16 防音材
17 防音材
18 防音材
19 防音材
20 防音材
21 防音材
22 防音材
23 防音材
24 防音材
25 防音材
26 防音材
27 防音材
28 防音材
29 防音材
30 防音材
31 防音材

1 防音材
2 防音材
3 防音材
4 防音材
5 防音材
6 防音材
7 防音材
8 防音材
9 防音材
10 防音材
11 防音材
12 防音材
13 防音材
14 防音材
15 防音材
16 防音材
17 防音材
18 防音材
19 防音材
20 防音材
21 防音材
22 防音材
23 防音材
24 防音材
25 防音材
26 防音材
27 防音材
28 防音材
29 防音材
30 防音材
31 防音材

17 ポックス文字
18 屋外掲示板
19 カウンター
20 物置、自転車庫
21 金庫
22 懸賞専用金物
23 両用掛け
24 扉裏掲げセット
25 郵便受箱(受付口)

26 付付底
27 シャワー+トイレユニット
28 シャワーユニット
29 システムキッチン
30 鏡
31 点検マンホール

1 排水溝
2 排水管
3 排水ます

1 路床
2 路盤
3 アスファルト舗装
4 コンクリート舗装
5 カラー舗装
6 透水性アスファルト舗装
7 排水性アスファルト舗装
8 ブロック舗装

9 路面表示用塗料
10 緑石工
11 砂利敷
12 草止め
23 植栽基盤整地工
24 植込み用土
25 土壌改良材
26 支柱
27 新植樹木の枯植
28 移植樹木の枯植
29 芝張り
30 受け付け用種子等
31 樹種板

24 視覚障害者用床材
25 点字紙
26 ピクトサイン
27 鏡
28 補助手摺
29 階段手摺
30 物置、自転車庫
31 金庫
32 懸賞専用金物
33 両用掛け
34 扉裏掲げセット
35 郵便受箱(受付口)

1 年度
2 工事名
3 図面名
4 縮尺

25 解体工事
1 解体工事
2 解体工事
3 解体工事
4 解体工事
5 解体工事
6 解体工事
7 解体工事
8 解体工事
9 解体工事
10 解体工事
11 解体工事
12 解体工事
13 解体工事
14 解体工事
15 解体工事
16 解体工事
17 解体工事
18 解体工事
19 解体工事
20 解体工事
21 解体工事
22 解体工事
23 解体工事
24 解体工事
25 解体工事
26 解体工事
27 解体工事
28 解体工事
29 解体工事
30 解体工事
31 解体工事

26 一般仕様
27 技術管理
28 下請業者等の選定
29 公害、安全対策
30 その他
31 請負人の責任
32 施工計画書の提出
33 作業主任の選定
34 作業者の選定
35 安全教育の実施
36 浮遊粉塵濃度測定

測定時間
測定名称
測定場所
測定地点
備考

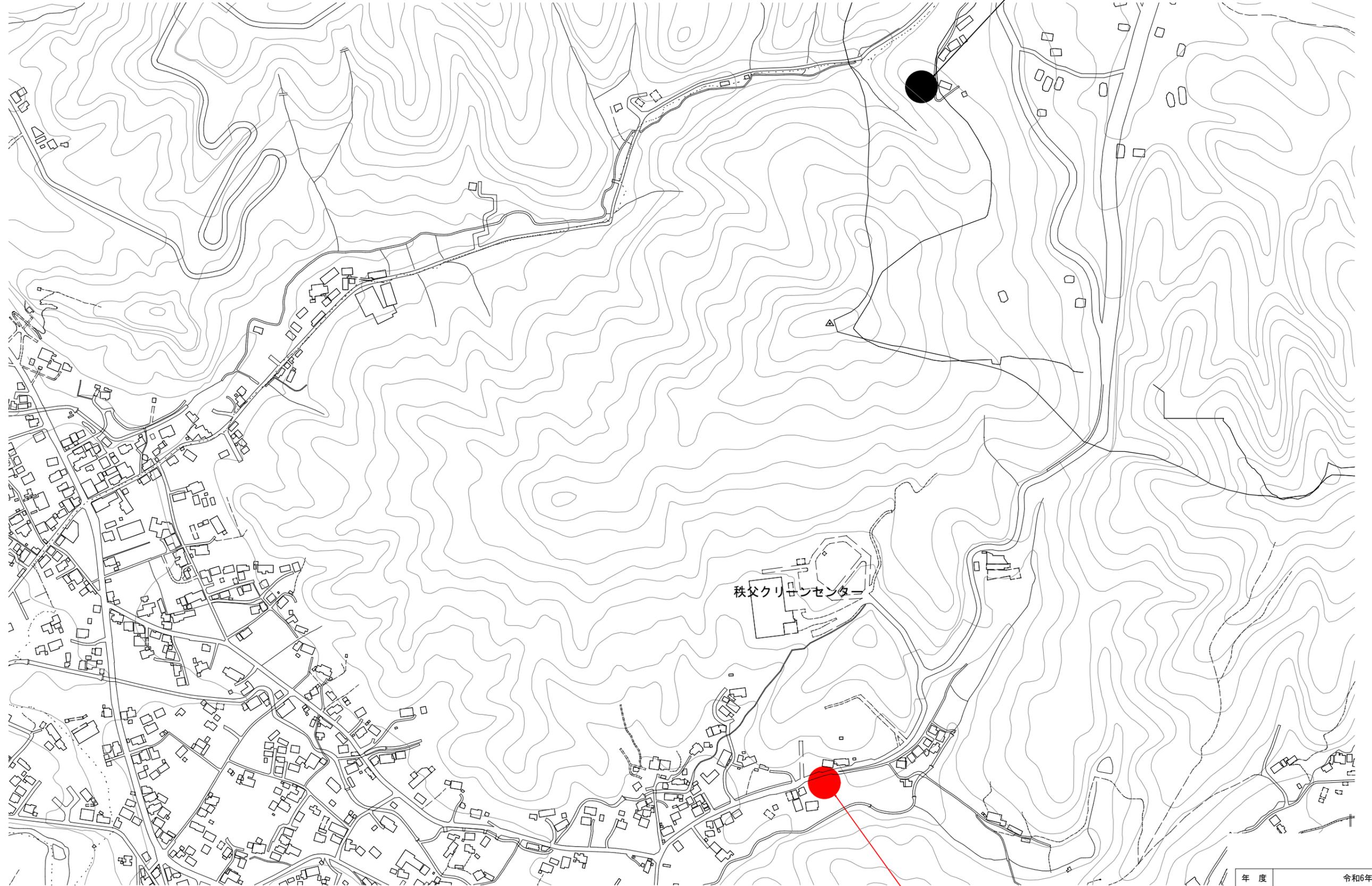
12 作業用更衣
13 作業用表示
14 呼吸用保護具及び保護服
15 飛散防止及び養生
16 撤去方法
17 除去アスベストの処理
18 作業終了場所の清掃
19 工事終了後の処置

年度 令和6年度
工事名 新三沢水ポンプ場築造工事
図面名 特記仕様書(3)
縮尺 1/1000

秩父広域市町村圏組合水道局

# 付近見取図

新三沢配水池築造予定地  
(計画容量:290.0m<sup>3</sup>、計画GL:295.5m)



秩父クリーンセンター

新三沢送水ポンプ場建設予定地  
(計画送水量:432.0m<sup>3</sup>/日、計画GL:229.0m)

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	付近見取図		
縮尺	A1 : S=1/2500 A3 : S=1/5000	図面番号	A-04
秩父広域市町村圏組合水道局			

⊕  
R4K11  
H=226.729

# 現況平面図



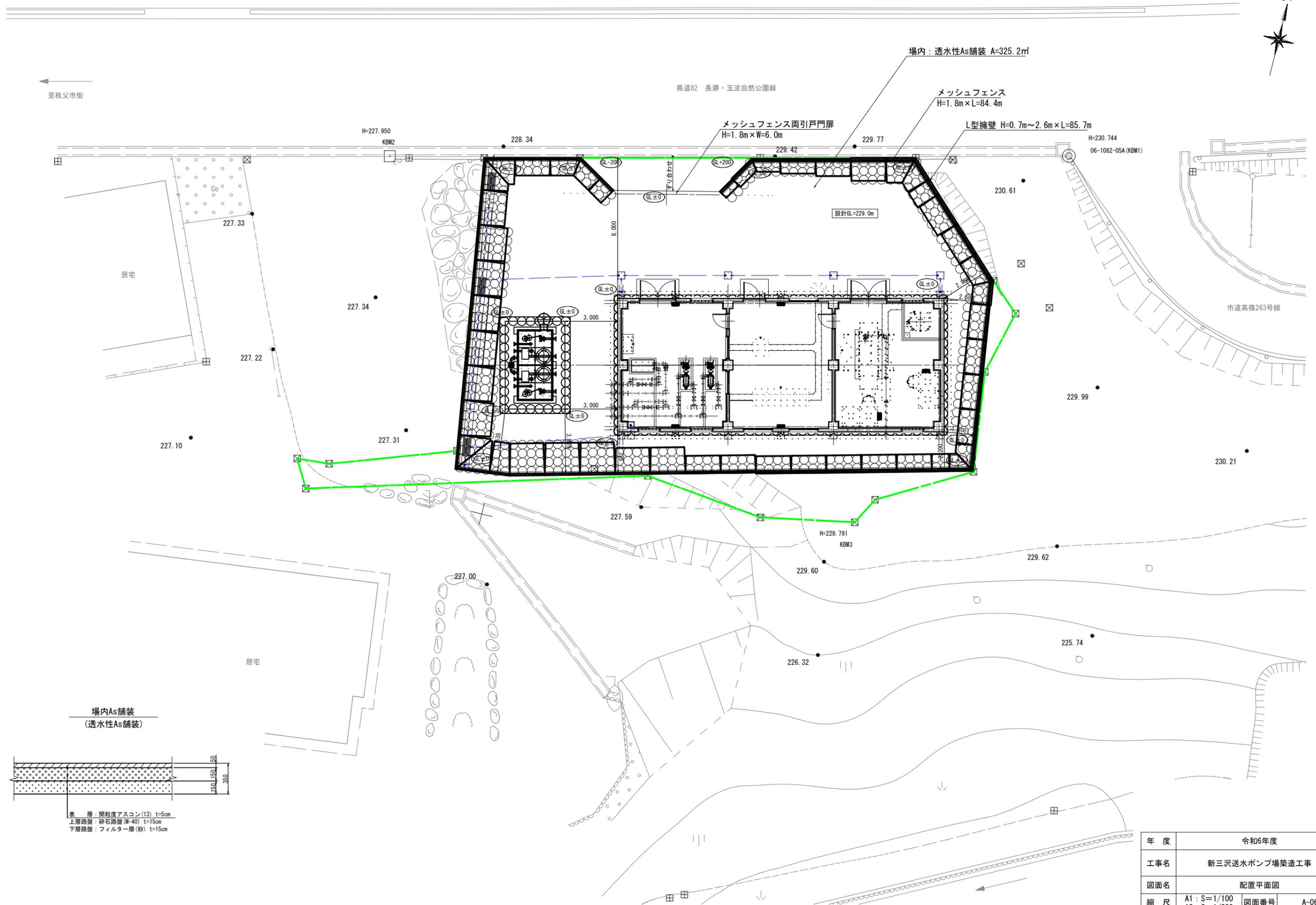
← 至秩父市街

県道82 長瀬・玉淀自然公園線

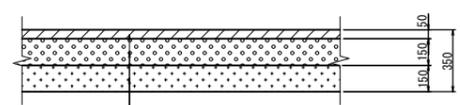


年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	現況平面図		
縮尺	A1 : S=1/100	図面番号	A-05
秩父広域市町村圏組合水道局			

# 配置平面図



場内As舗装  
(透水性As舗装)



表層: 開粒度アスコン (13) t=5cm  
上層路盤: 砕石路盤 (M-40) t=15cm  
下層路盤: フィルター層 (砂) t=15cm

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	配置平面図		
縮尺	A1: S=1/100	図面番号	A-06
秩父広域市町村圏組合水道局			

建築概要

工事名称 新三沢送水ポンプ場築造工事  
 主要用途 その他(08990) 浄水場・ポンプ室  
 地名地番 秩父市 栃谷 地内  
 住居表示 -  
 敷地面積 564.99 m<sup>2</sup>  
 用途地域 指定なし  
 防火の指定 指定なし  
 区域区分 都市計画区域外  
 前面道路 -

構造・高さ RC造 平屋建 最高高さ 5.56 m 最高軒高 5.48 m  
 建築面積 135.38 m<sup>2</sup>  
 延べ面積 135.38 m<sup>2</sup>  
 建蔽率 23.96 % < 60 %  
 容積率 23.96 % < 200 %  
 備考

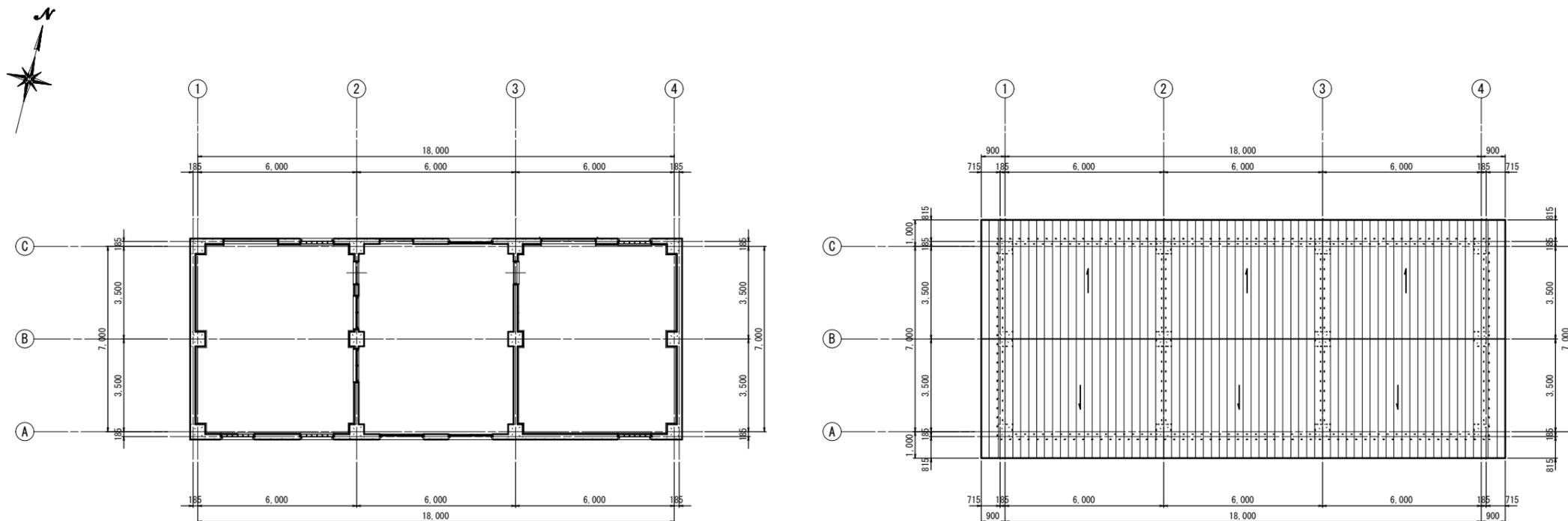
外部仕上表

屋根 フッ素ガルバリウム鋼板 縦葺  
 軒先 コンクリート補修の上 防水形外装薄塗材E吹付  
 軒裏 コンクリート補修の上 防水形外装薄塗材E吹付  
 外壁 コンクリート補修の上 防水形複層塗材RE吹付  
 土間 コンクリート直均し

内部仕上表

室名	天井高さ	床		巾木			壁		天井		備考
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上		
ポンプ室	4.64m	CON	コンクリート金ゴテ押さえの上 防塵塗装	CON	コンクリート打ち放し補修の上 防塵塗装塗上げ	CON	コンクリート打ち放し補修の上 グラスウールボード貼	CON	コンクリート補修の上 パーライト吹付		
電気室	4.64m	CON	コンクリート金ゴテ押さえの上 防塵塗装	CON	コンクリート打ち放し補修の上 防塵塗装塗上げ	CON	コンクリート打ち放し仕上げ (B種)	CON	コンクリート補修の上 パーライト吹付		
自家発電室	4.64m	CON	コンクリート金ゴテ押さえの上 防塵塗装 コンクリート金ゴテ押さえの上 耐薬品塗装	CON	コンクリート打ち放し補修の上 防塵塗装塗上げ コンクリート打ち放し補修の上 耐薬品塗装塗上げ	CON	コンクリート打ち放し補修の上 グラスウールボード貼	CON	コンクリート補修の上 パーライト吹付		

求積図



平面図

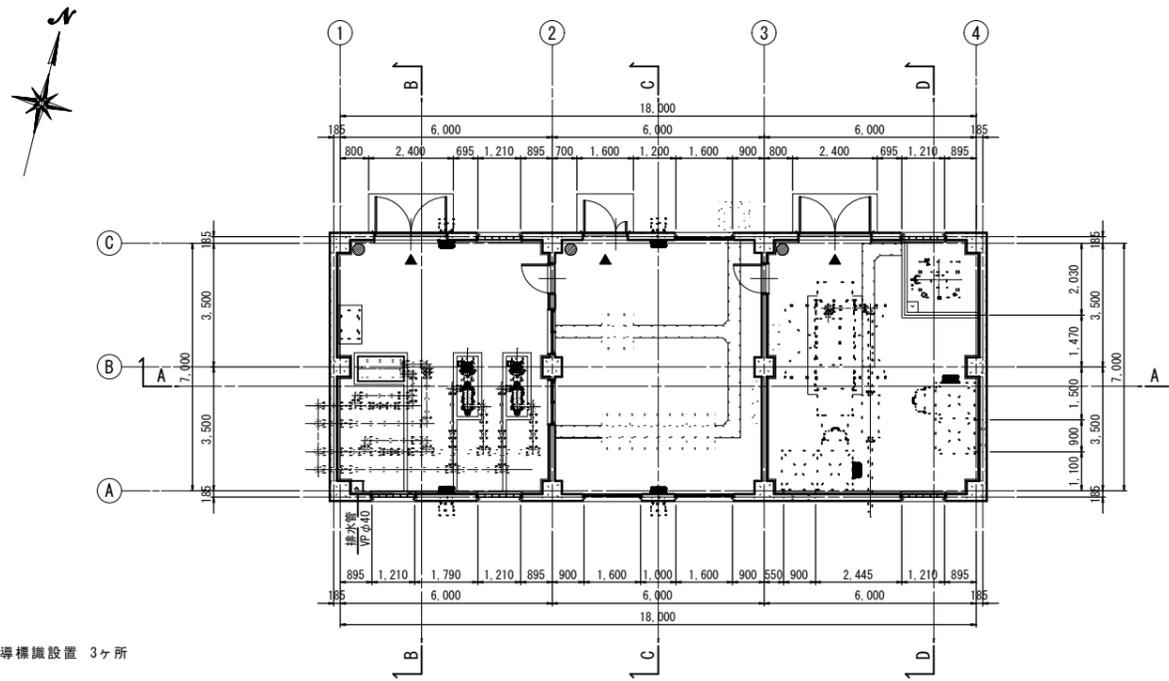
屋根伏図

面積一覧表

項目	計算式	面積
①	$(6.00+0.185) \times (7.00+0.185 \times 2)$	45.58m <sup>2</sup>
②	$6.00 \times (7.00+0.185 \times 2)$	44.22m <sup>2</sup>
③	$(6.00+0.185) \times (7.00+0.185 \times 2)$	45.58m <sup>2</sup>
建築面積	① + ② + ③	135.38m <sup>2</sup>
延床面積	① + ② + ③	135.38m <sup>2</sup>

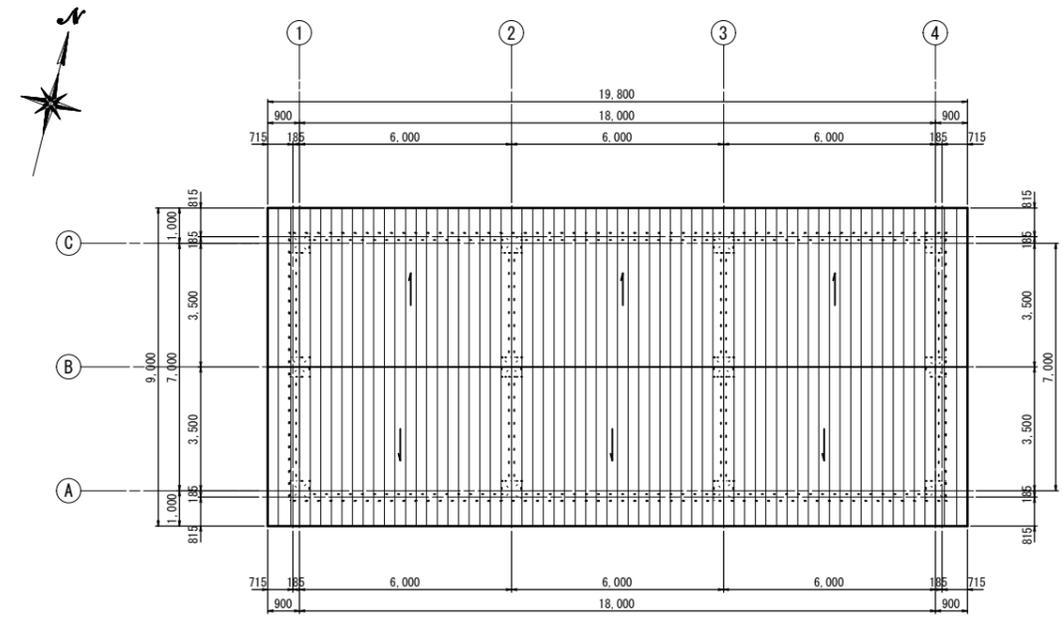
年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	建築概要・仕上表・求積図		
縮尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	図面番号	A-07
秩父広域市町村圏組合水道局			

平面図

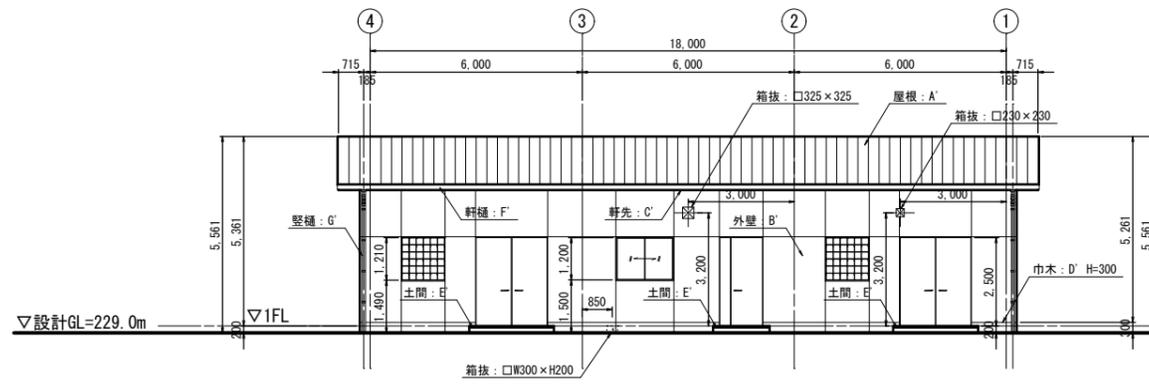


▲誘導標識設置 3ヶ所  
 ●ABC型消火器 10号 3本

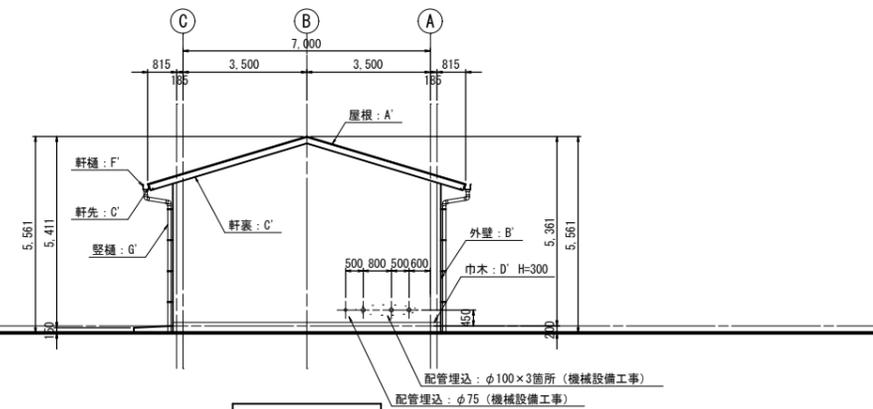
屋根伏図



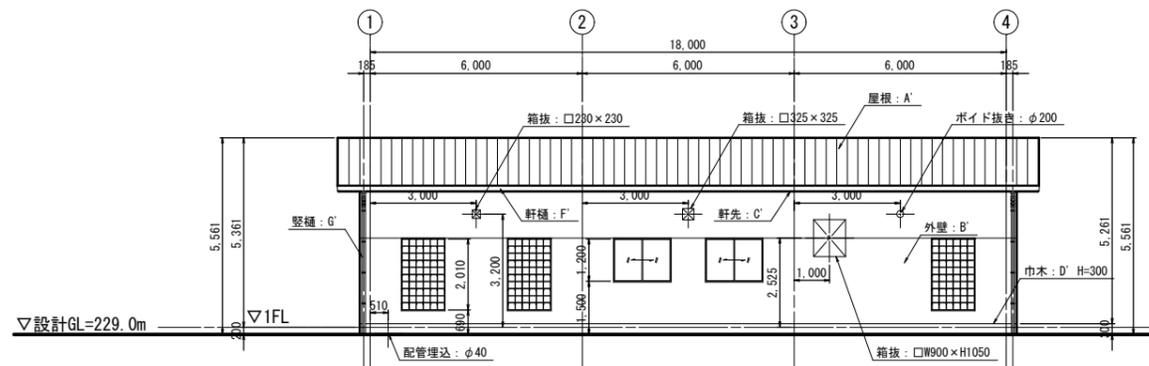
立面図



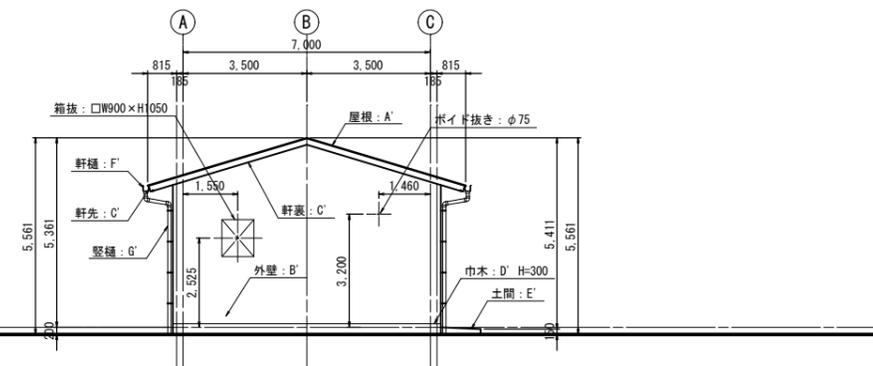
北側立面図



西側立面図



南側立面図



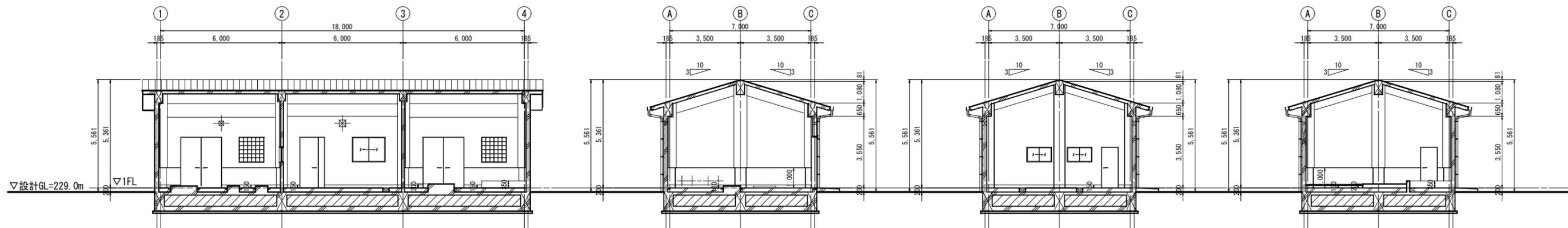
東側立面図

外部仕上一覧表

A'	フッ素ガルバリウム鋼板 縦葺
B'	コンクリート打ち放し補修の上 防水形複層塗材RE吹付
C'	コンクリート打ち放し補修の上 防水形薄塗外装塗材E吹付
D'	コンクリート打ち放し補修の上 フッ素樹脂吹付
E'	コンクリート金ゴテ押さえ
F'	軒樋 塩ビ角型 受金物共 W=150
G'	縦樋 VUカラー 福み金物共 φ100
H'	
I'	
J'	
K'	
L'	
M'	
N'	
O'	
P'	
Q'	
R'	
S'	
T'	
U'	
V'	
W'	

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	平面図・屋根伏図・立面図		
縮尺	A1 : S=1/100	図面番号	A-08
秩父広域市町村圏組合水道局			

断面図



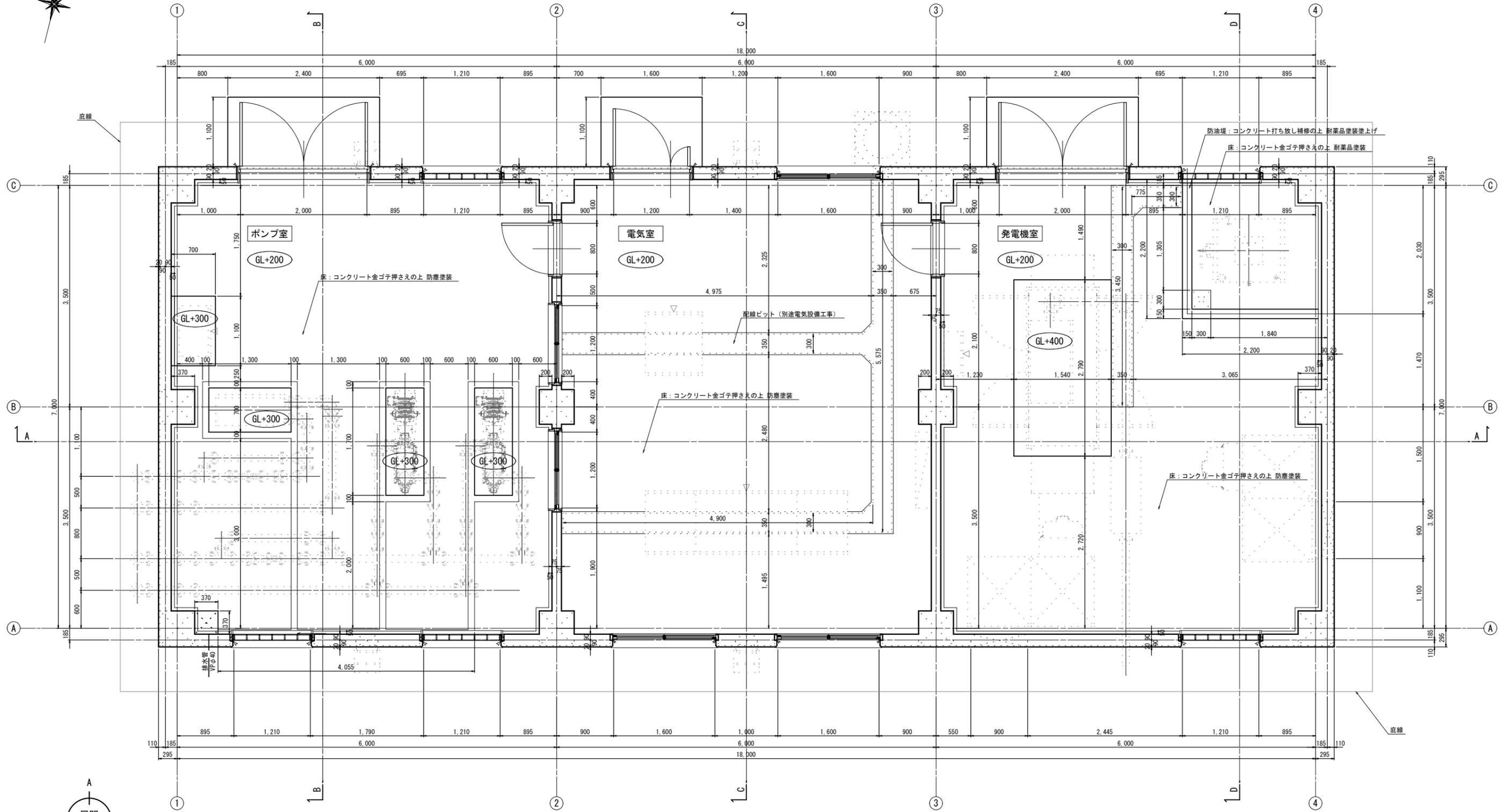
A-A断面図

B-B断面図

C-C断面図

D-D断面図

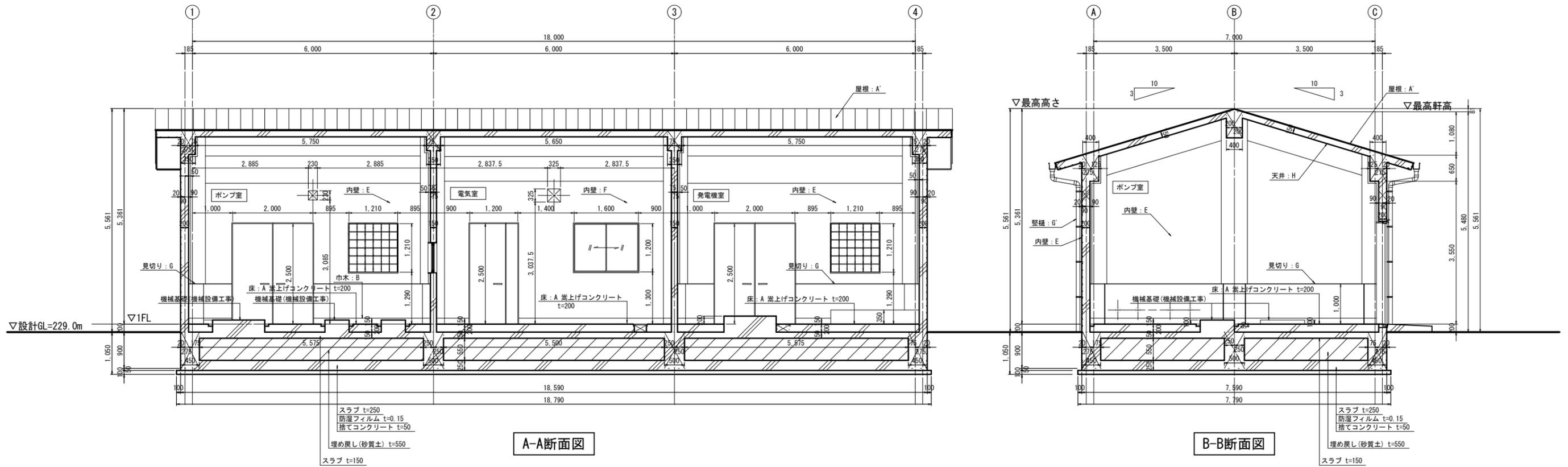
年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	断面図		
縮尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	図面番号	A-09
秩父広域市町村圏組合水道局			



平面詳細図

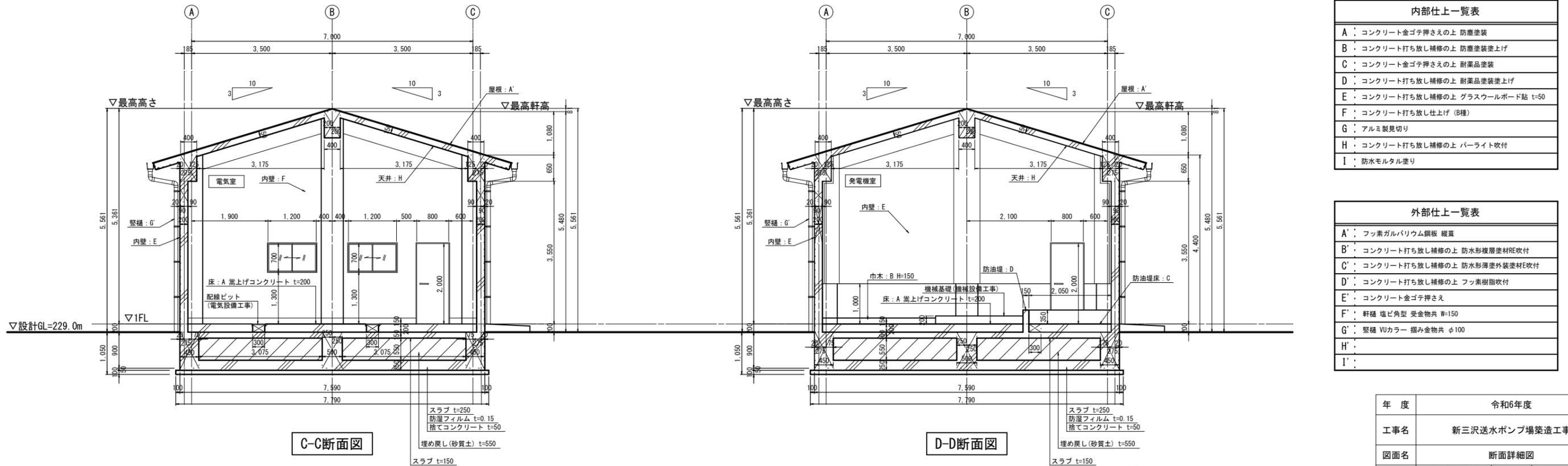
年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	平面詳細図		
縮尺	A1 : S=1/30 A3 : S=1/60	図面番号	A-10
秩父広域市町村圏組合水道局			

断面詳細図



A-A断面図

B-B断面図



C-C断面図

D-D断面図

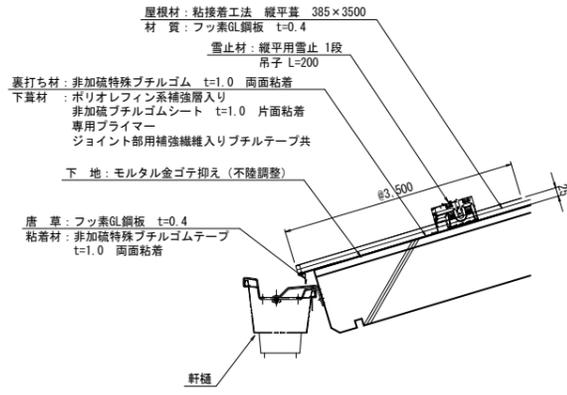
内部仕上一覧表	
A	コンクリート金ゴテ押さえの上 防塵塗装
B	コンクリート打ち放し補修の上 防塵塗装仕上げ
C	コンクリート金ゴテ押さえの上 耐薬品塗装
D	コンクリート打ち放し補修の上 耐薬品塗装仕上げ
E	コンクリート打ち放し補修の上 グラスウールボード貼 t=50
F	コンクリート打ち放し仕上げ (B種)
G	アルミ製見切り
H	コンクリート打ち放し補修の上 パーライト吹付
I	防水モルタル塗り

外部仕上一覧表	
A'	フッ素ガルバリウム鋼板 縦葺
B'	コンクリート打ち放し補修の上 防水形複層塗材RE吹付
C'	コンクリート打ち放し補修の上 防水形薄塗外装塗材E吹付
D'	コンクリート打ち放し補修の上 フッ素樹脂吹付
E'	コンクリート金ゴテ押さえ
F'	軒端 塩ビ角型 受金物共 W=150
G'	縦樋 VUカラー 樋み金物共 φ100
H'	
I'	

年度	令和6年度		
工事名	新三沢水ポンプ場築造工事		
図面名	断面詳細図		
縮尺	A1 : S=1/50	図面番号	A-11
	A3 : S=1/100		
秩父広域市町村圏組合水道局			

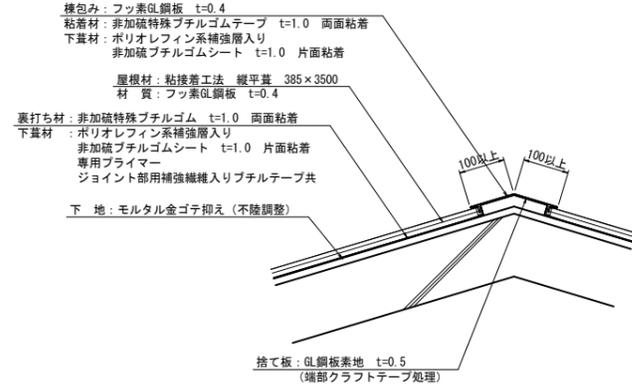
(注記)  
 ・配管の貫通位置は、機械設備と調整の上決定すること。

軒先部詳細図 A1 : S=1 : 10 / A3 : S=1 : 20



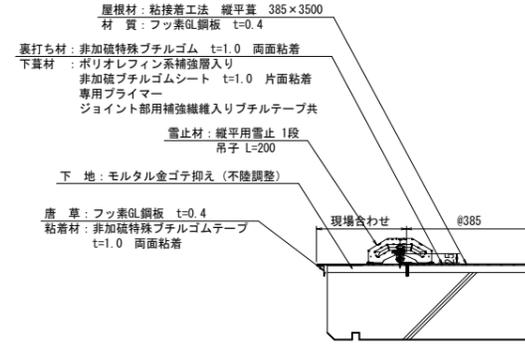
※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

棟部詳細図 A1 : S=1 : 10 / A3 : S=1 : 20



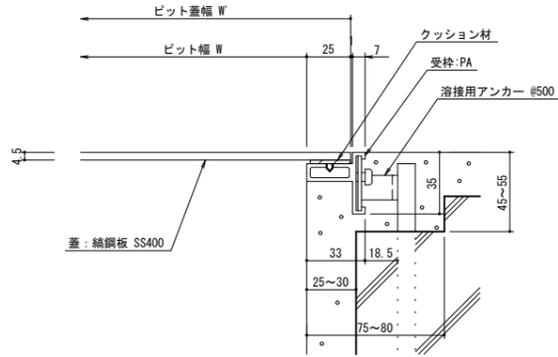
※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

ケラバ部詳細図 A1 : S=1 : 10 / A3 : S=1 : 20



※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

配線ピット蓋詳細図 A1 : S=1 : 2 / A3 : S=1 : 4 (電気設備工事)



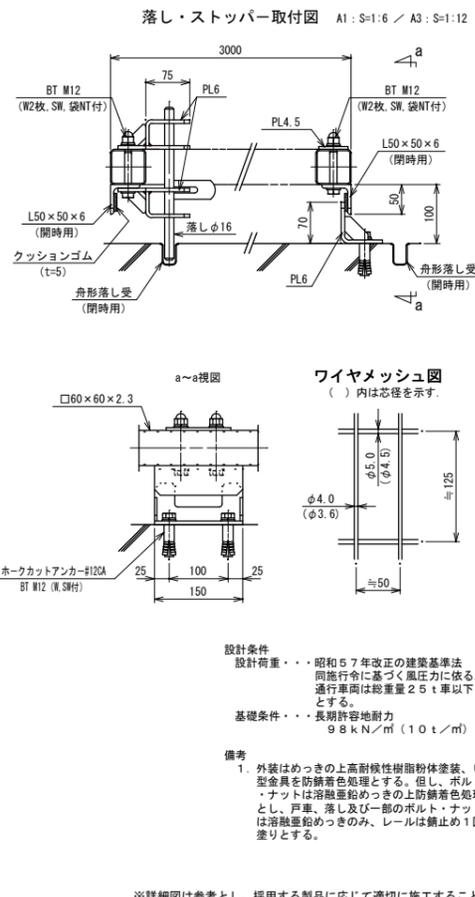
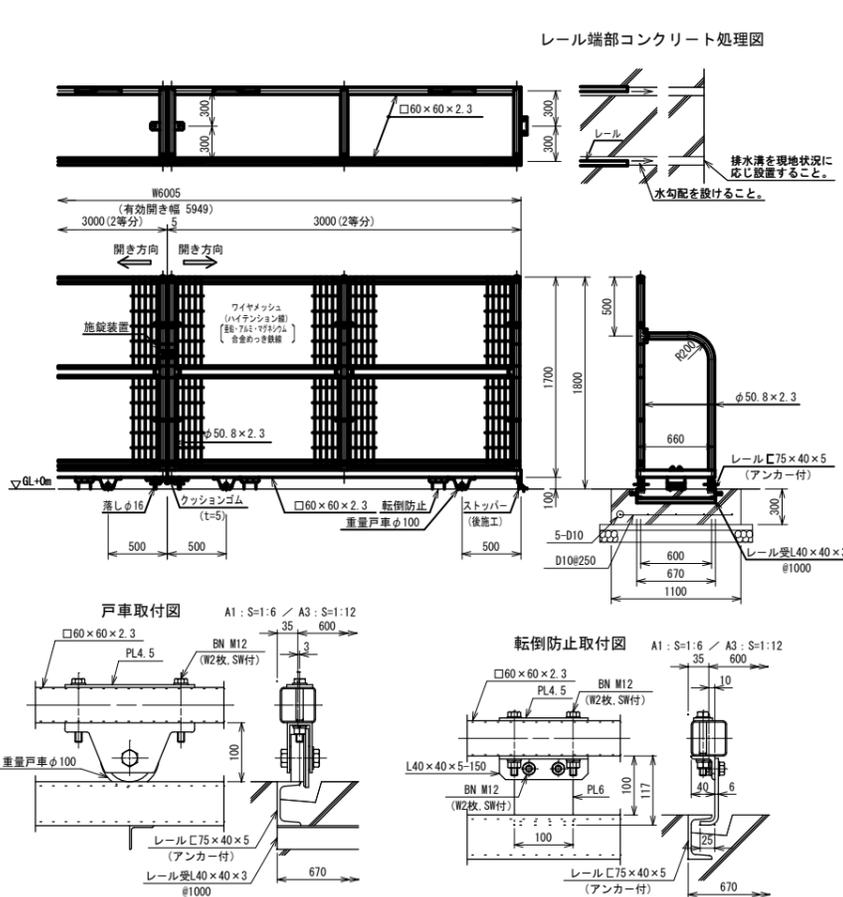
※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

メッシュフェンス門扉 (両開き引戸) 詳細図 A1 : S=1 : 30 / A3 : S=1 : 60

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

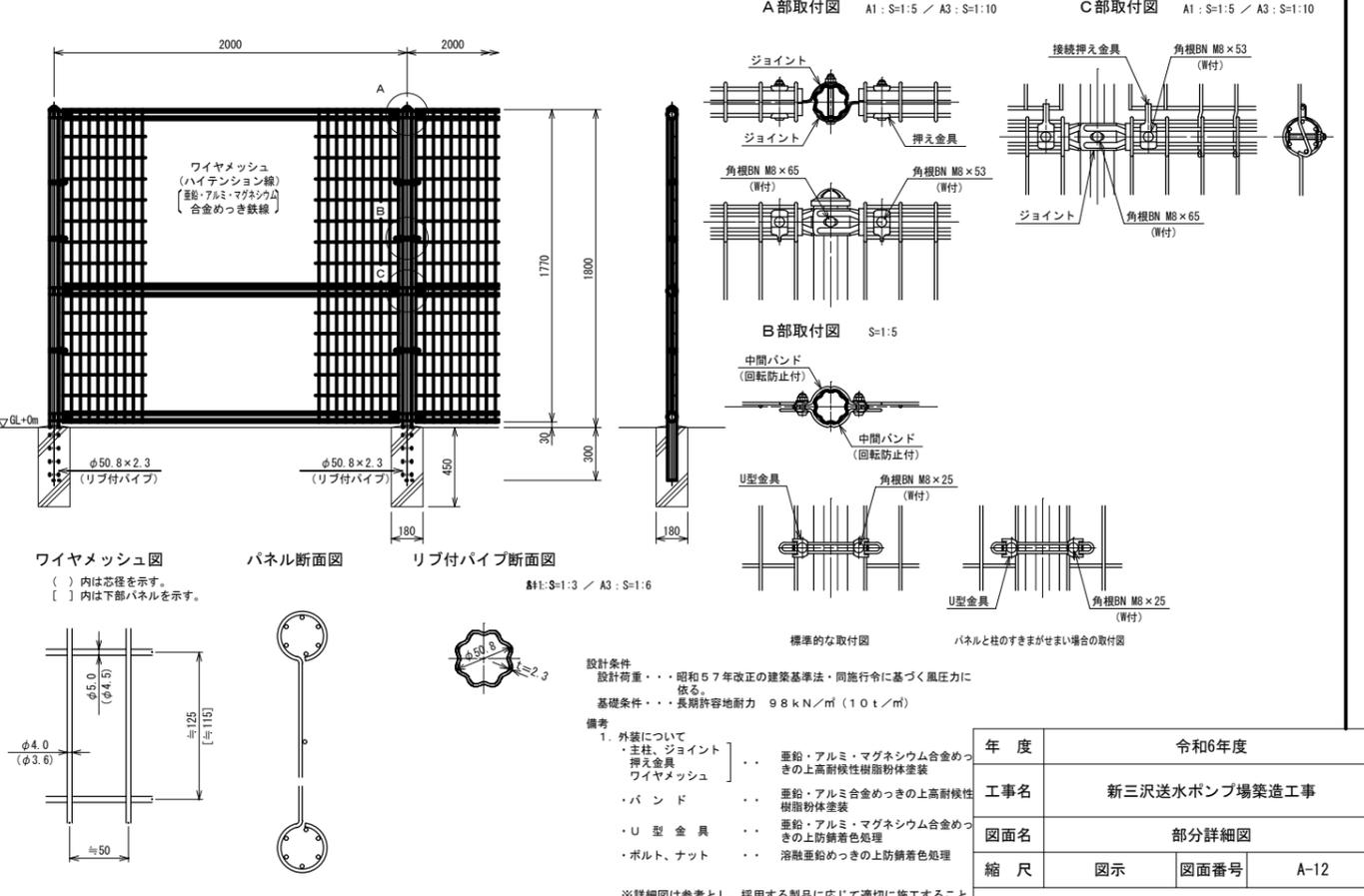
メッシュフェンス詳細図 A1 : S=1 : 30 / A3 : S=1 : 60

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



設計条件... 昭和57年改正の建築基準法... 基礎条件... 長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)

※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

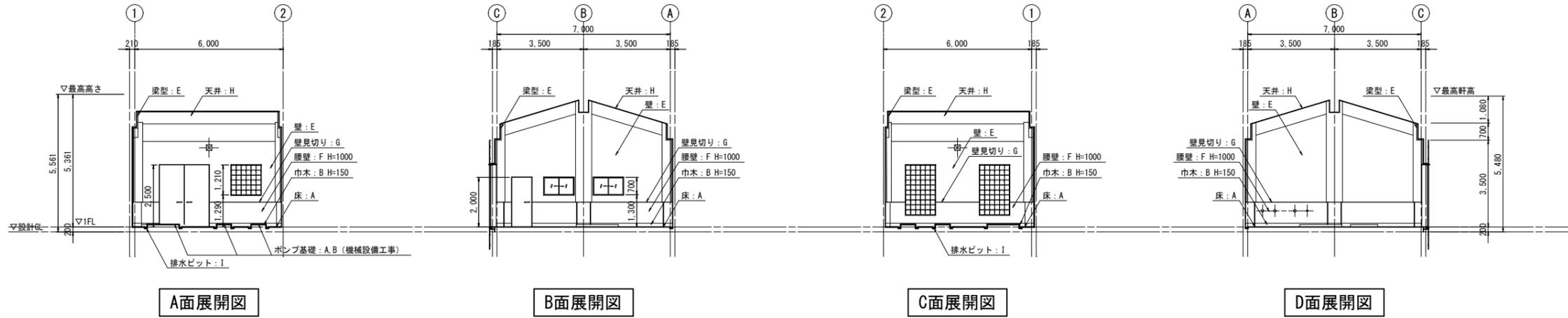


設計条件... 昭和57年改正の建築基準法... 基礎条件... 長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)

※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

Table with columns: 年度 (Year), 工事名 (Project Name), 図面名 (Drawing Name), 縮尺 (Scale), and 図示 (Figure). Includes project name '新三沢水ポンプ場築造工事' and drawing name '部分詳細図'.

ポンプ室展開図

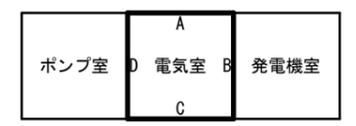
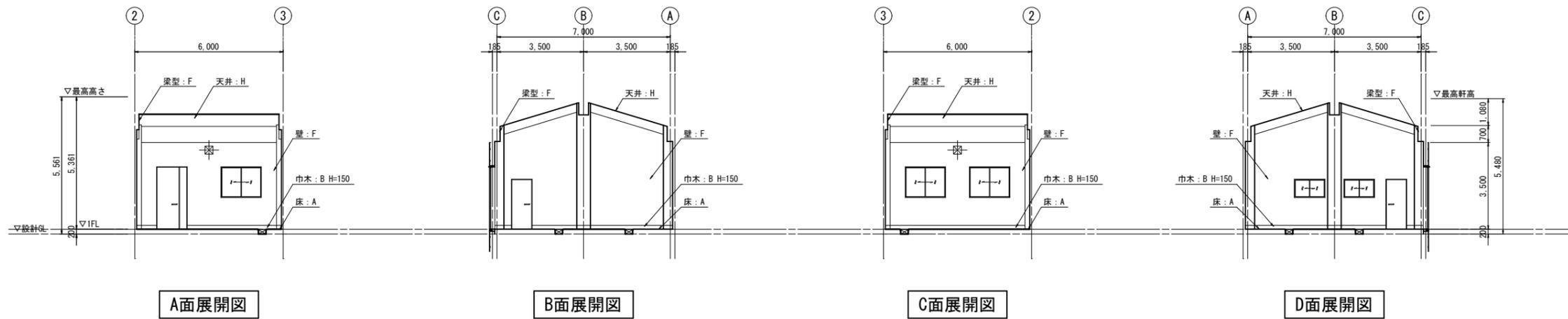


内部仕上一覧表	
A	コンクリート金ゴテ押さえの上 防塵塗装
B	コンクリート打ち放し補修の上 防塵塗装仕上げ
C	コンクリート金ゴテ押さえの上 耐薬品塗装
D	コンクリート打ち放し補修の上 耐薬品塗装仕上げ
E	コンクリート打ち放し補修の上 グラスウールボード貼 t=50
F	コンクリート打ち放し仕上げ (B種)
G	アルミ製見切り
H	コンクリート打ち放し補修の上 パーライト吹付
I	防水モルタル塗り



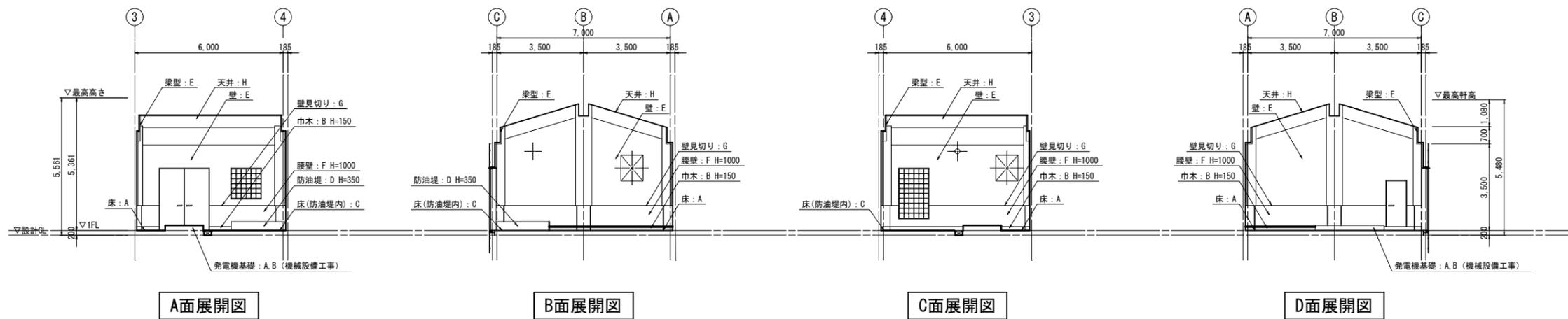
KeyPlan S=non

電気室展開図



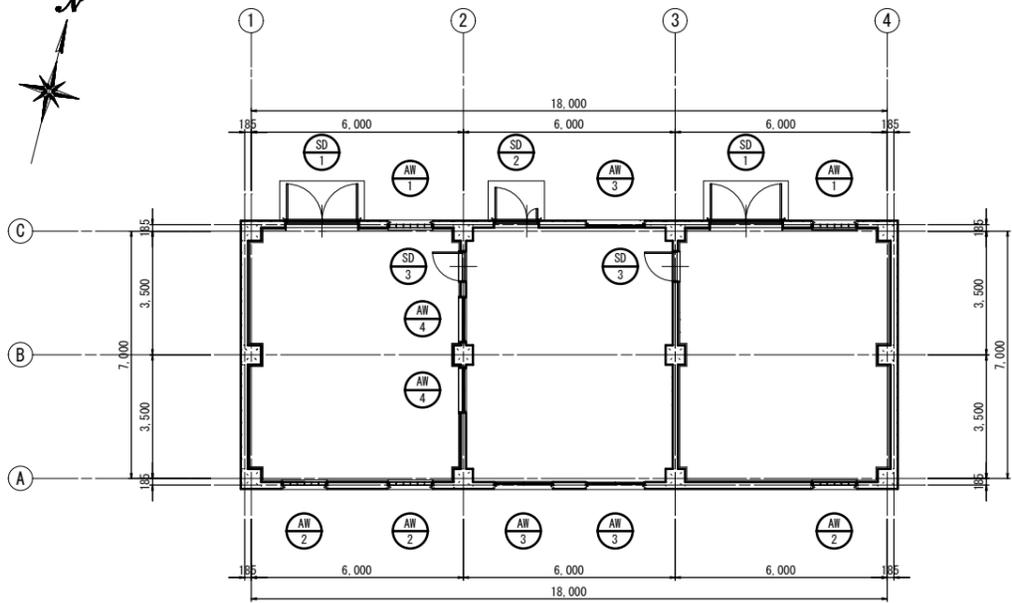
KeyPlan S=non

発電機室展開図



KeyPlan S=non

年度	令和6年度		
工事名	新三沢水ポンプ場築造工事		
図面名	展開図		
縮尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	図面番号	A-13
秩父広域市町村圏組合水道局			



建具配置図 A1 : S=1:100 / A3 : S=1:200

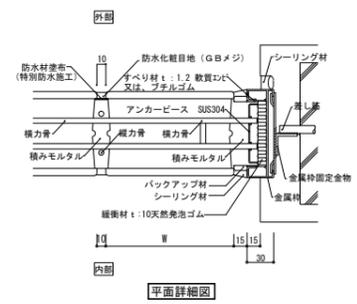
■ 建具キープラン・リスト・凡例 (特記なき限り下記による。)

1. 建具の符号		3. 建具金物等符号	
SD	鋼製ドア 見込 100mm	T	ステンレスT番
AD	アルミ製ドア 見込 70mm	DC	ドアチェック
AW	アルミ製窓 見込 70mm	Q	シリンダー栓
WD	木製建具 建具見込 36mm	F	フランシス落し
		QHL	シリンダー本鎖錠 (サムターン付)
		S	アルミパネル
		OK	シリンダー鍵錠
		SR	ステンレス製レール
		QM	円筒シリンダー錠
		LH	レバーハンドル
		SF	ステンレス番指
		TA	戸当り
2. ガラスの種類と符号		4. ステンレス番指の型式と符号	
TG	強化ガラス	PW	網入鉛板ガラス
TGF	強化鉛板ガラス	FW	網入型板ガラス
FL	フロートガラス	P	複層ガラス
F	型板ガラス	AP	アルミパネル

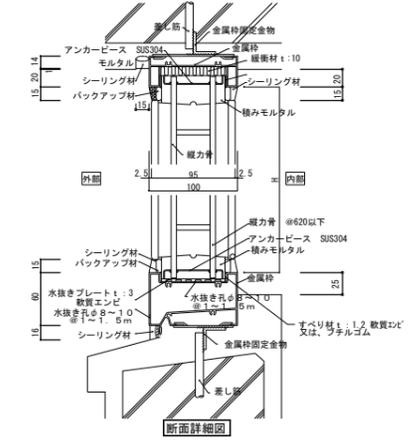
番 号	S.T-1	S.T-2	S.T-3
型 式			
	4x12	40x20x2.0	2.0 歯加工

■ 建具工事・特記事項

- アルミ製建具は、特記なき限りカラーアルミ (B-2仕様) とする。
- 網戸は、ガラス種入り合成樹脂製とする。
- 金物類は、特記なき限り金でステンレス製とし、見本品提出の上決定とする。
- 建具守法は省略を示すものとし、部材寸法共、現場指示により施工図作成の上決定とする。



ガラスブロック詳細図 A1 : S=1:4 / A3 : S=1:8

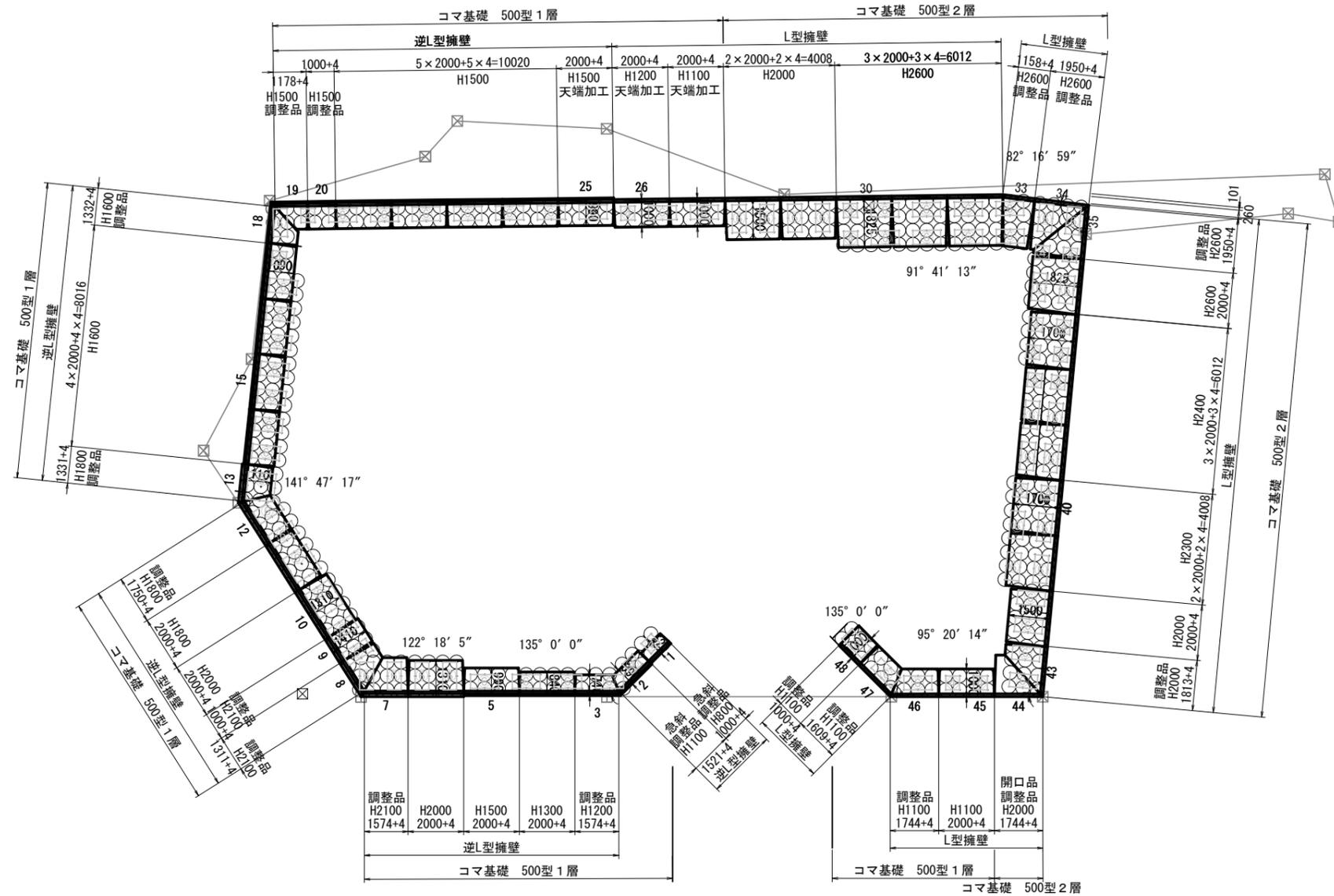


建具リスト A1 : S=1:50 / A3 : S=1:100

符号	数量	SD-1	2	SD-2	1	SD-3	2										
姿図																	
形式	見込	欄間キスチール製フラッシュ戸 (AT)	特見込/100	欄間キスチール製フラッシュ戸 (AF)	特見込/100	片開キスチール製フラッシュ戸 (AF)	特見込/100										
金物		シリンダー本鎖付きモノロック、ドアチェック、T番、フランシス落し		シリンダー本鎖付きモノロック、ドアチェック、T番、フランシス落し		シリンダー本鎖付きモノロック、ドアチェック、T番、フランシス落し											
硝子		戸当り、番指 (ST-3)、煽り止め、付属金物一式、鋼製網線 (三方枠)		戸当り、番指 (ST-3)、煽り止め、付属金物一式、鋼製網線 (三方枠)		戸当り、番指 (ST-3)、煽り止め、付属金物一式、鋼製網線 (三方枠)											
仕上・塗装	取付場所	取付塗装	外部 - ポンプ室、発電機室	取付塗装	外部 - 電気室	取付塗装	外部 - ポンプ室、電気室、発電機室										
符号	数量	AW-1	2	AW-2	3	AW-3	3	AW-4	2								
姿図																	
形式	見込	ガラスブロック窓	特見込/100	ガラスブロック窓	特見込/100	アルミ製引き違い窓	特見込/70	アルミ製引き違い窓	特見込/70								
金物		附属金物一式	7&8製網線 (四方枠)	附属金物一式	7&8製網線 (四方枠)	附属金物一式	7&8製網線 (四方枠)	附属金物一式	7&8製網線 (四方枠)								
硝子		ガラスブロック 190x190x95		ガラスブロック 190x190x95		FL-6.8mm		FL-6.0mm									
仕上・塗装	取付場所	カラーアルミ (-銀色)	外部 - ポンプ室、発電機室	カラーアルミ (-銀色)	外部 - ポンプ室、発電機室	カラーアルミ (-銀色)	外部 - 電気室	カラーアルミ (-銀色)	外部 - ポンプ室、電気室								

年度	令和6年度		
工事名	新三沢水ポンプ場築造工事		
図面名	建具表		
縮尺	図示	図面番号	A-14
秩父広域市町村圏組合水道局			

# L型擁壁平面図



逆L型擁壁数量表(参考品番: KGL-WS1) 天端スロープタイプ

番号	サイズ(mm)	規格	数量	摘要
1	800	短尺, 急斜	1	L=1.000
2	1100	短尺, 急斜	1	L=1.521
3	1200	短尺	1	L=1.574
	1300	標準品	1	L=2.000
	1500	標準品	1	L=2.000
25	1500	天端加工	1	L=2.000
	1600	標準品	4	L=2.000
18	1600	短尺	1	L=1.332
	2000	標準品	2	L=2.000
7~9	2100	短尺	3	L=1.000~1.574
計			16本	

逆L型擁壁数量表(参考品番: KGL-WF1) 天端フラットタイプ

番号	サイズ(mm)	規格	数量	摘要
	1500	標準品	4	L=2.000
19, 20	1500	短尺	2	L=1.000~1.178
	1800	標準品	1	L=2.000
12, 13	1800	短尺	2	L=1.331~1.750
計			9本	

L型擁壁数量表(参考品番: KKL-CWF1) 天端フラットタイプ

番号	サイズ(mm)	規格	数量	摘要
	1100	標準品	1	L=2.000
46~48	1100	短尺	3	L=1.000~1.744
	2000	標準品	3	L=2.000
43	2000	短尺	1	L=1.803
44	2000	短尺, 開口	1	L=1.744
	2300	標準品	2	L=2.000
	2400	標準品	3	L=2.000
	2600	標準品	4	L=2.000
33~35	2600	短尺	3	L=1.158~1.950
計			21本	

L型擁壁数量表(参考品番: KKL-CWS1) 天端スロープタイプ

番号	サイズ(mm)	規格	数量	摘要
	1100	標準品	1	L=2.000
	1200	標準品	1	L=2.000
計			2本	

コマ基礎 1層部 数量表

項目	数量	摘要
500型 6連 (2×3)	32	基
500型 4連 (2×2)	7	基
500型 9連 (3×3)	3	基
間詰砕石 (RC-40)	52.50	m3 ブロック充填部
鉄ユニオン (D-13)	358.30	Kg 鉄筋 SD295A D13

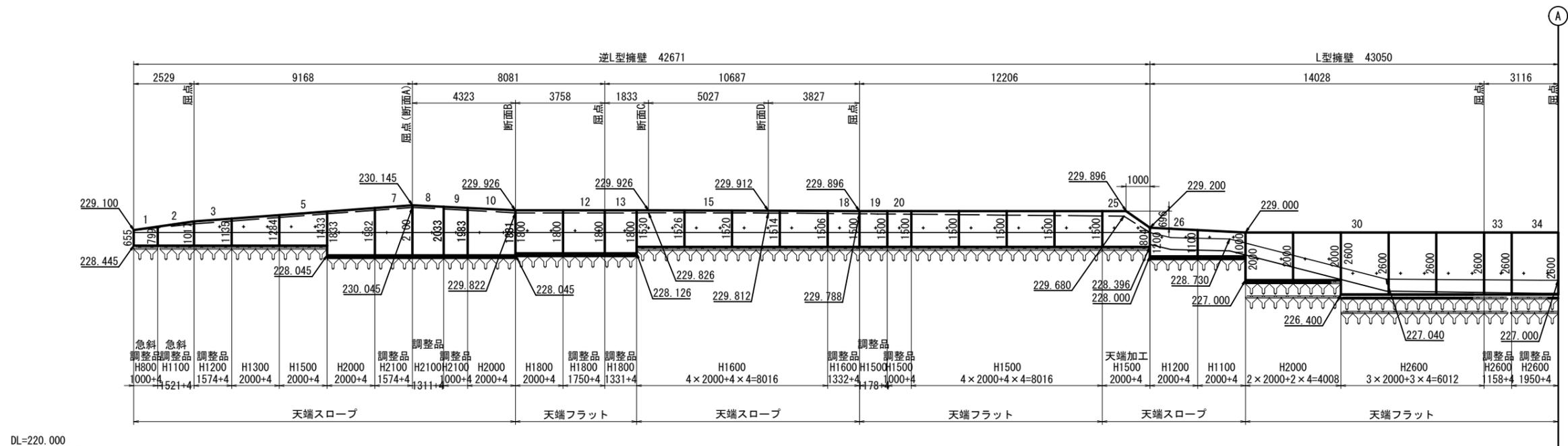
コマ基礎 2層部 数量表

項目	数量	摘要
500型 6連 (2×3)	56	基
500型 4連 (2×2)	24	基
間詰砕石 (RC-40)	59.80	m3 ブロック充填部
鉄ユニオン (D-13)	430.00	Kg 鉄筋 SD295A D13

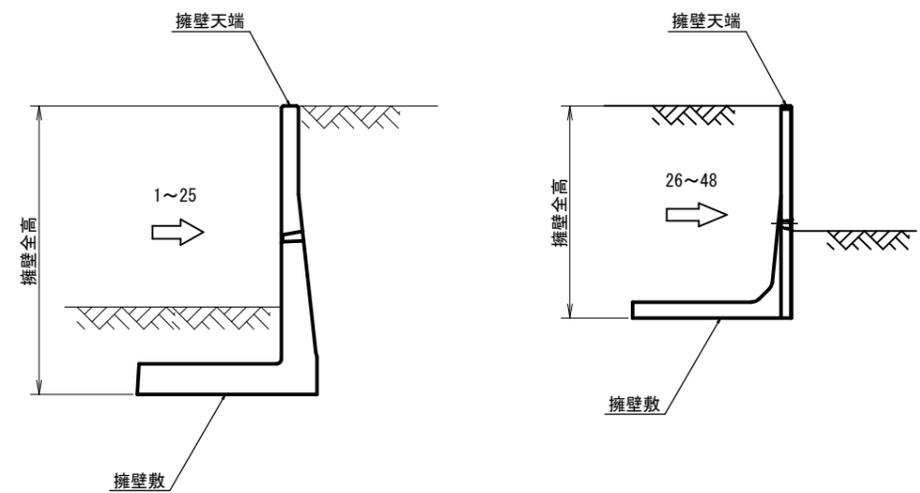
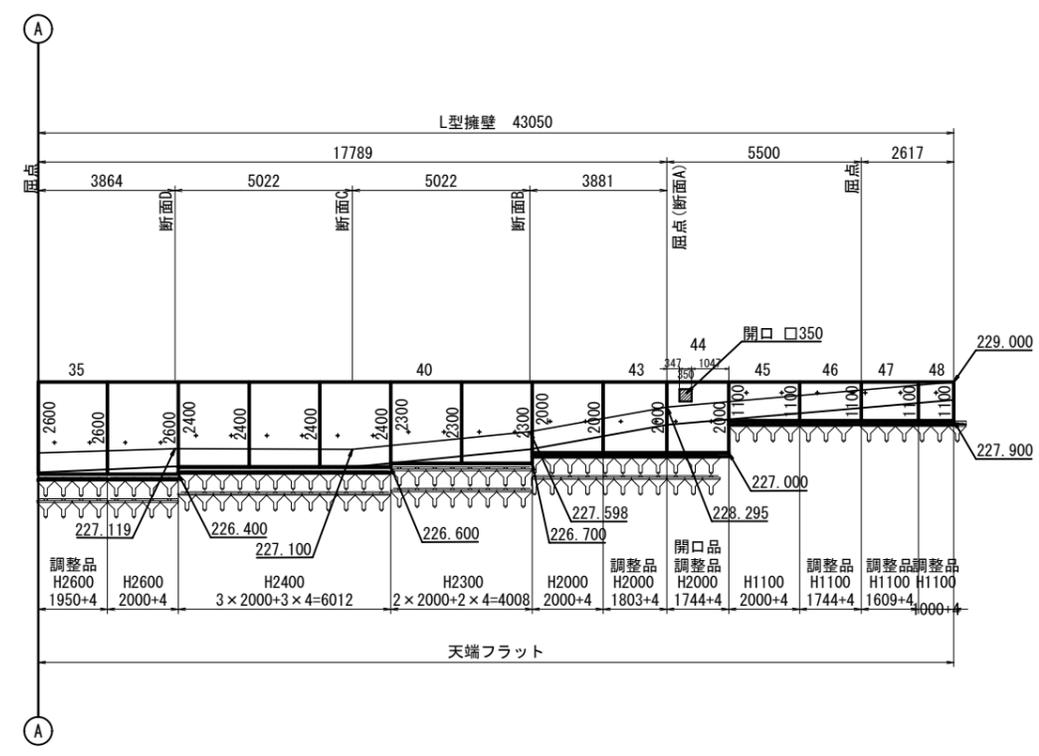
(注記)  
 ・擁壁寸法は参考とし、施工図を作成の上監督員の承認を得て制作・施工すること。

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	L型擁壁平面図		
縮尺	A1: S=1/100 A3: S=1/200	図面番号	A-15
秩父広域市町村圏組合水道局			

L型擁壁展開図 A1: S=1:100  
A3: S=1:100



L型擁壁標準断面図 A1: S=1:50  
A3: S=1:100



※. 擁壁見え高は2.0m以内とすること。

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	L型擁壁展開図・L型擁壁標準断面図		
縮尺	図示	図面番号	A-16
秩父広域市町村圏組合水道局			

# コマ基礎構造特記仕様書・基礎工事

基礎名称 トップベース工法

## 1. 設計条件

設計荷重	長期	kN/m <sup>2</sup>	短期	kN/m <sup>2</sup>	地質	計算書による。
許容支持力	長期	kN/m <sup>2</sup>	短期	kN/m <sup>2</sup>	強度	計算書による。
地質調査						

基礎とコマ型ブロックは図4-2の様に標準として半コマあけてください

## 2. 材 料

2-1 コマ型ブロック 構造物基礎として用いるコマ型ブロック（マイ独楽）6連型は330型及び500型の二種類である

□ 500型 □ 330型  
個数 個 面積 m<sup>2</sup>（間詰め砕石）

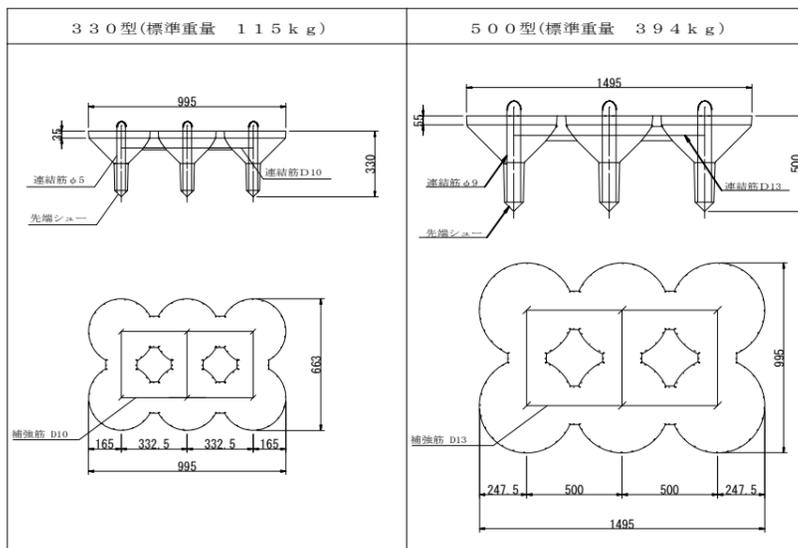


図2-1 コマ型ブロック（6連型）の形状寸法

連結筋： コマ型ブロックを吊上げるために上面に突起した円弧状の鉄筋

仕様	コマ型ブロック	330型	φ 5mm
鉄筋径	コマ型ブロック	500型	φ 9mm

補強筋： コマ型ブロックを連結するための内部補強筋

仕様	コマ型ブロック	330型	D10mm
鉄筋径	コマ型ブロック	500型	D13mm

筏ユニオン： コマ型ブロックを、相互に固定するためブロック上面に井桁状に配置する鉄筋

仕様	コマ型ブロック	330型	D10mm
鉄筋径	コマ型ブロック	500型	D13mm

## 2-2 間詰砕石（一般例）

間詰砕石は、原則として充填締め固めに有利な切り込み砕石 40~0mm（記号C-40）または粒度調整砕石 40~0mm（記号M-40）、再生砕石40~0mm（記号RC-40）を使用する

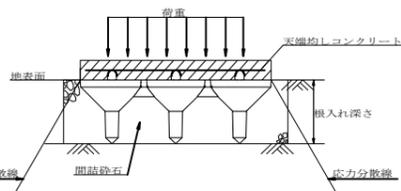
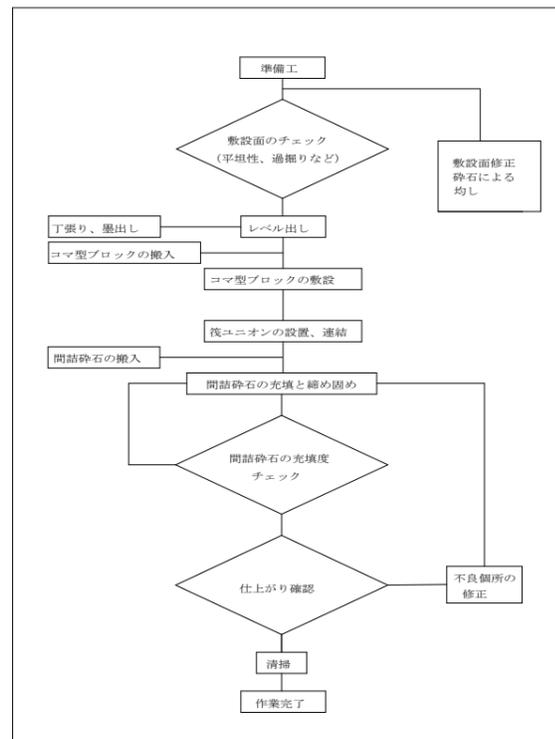


図2-2 敷設断面図

## 3. 標準施工法

トップベース工法施工手順フローチャート



### 3-1 施工手順

- 位置設定** 丁張りを設置し、正確にレベルを出しを行い、コマ型ブロックの設置位置を決定する。
- 掘り方** 標準掘り方は、天端均しコンクリート下面よりコマ型ブロックのH(高さ)の寸法とする。地盤が柔らかい場合は、まきだし砕石等を行う。コマ型ブロックのH(高さ)×1/2の寸法まで、砕石を均等に敷く。
- コマ型ブロックの敷設** ラフテレーンクレーン等を用いてコマ型ブロックを垂直に設置、または圧入して正確な位置に据え付ける。(図3-2、図3-3)
- 筏ユニオンの連結** 標準として筏ユニオンをコマブロック上部の連結筋の中に通し結束する。必要な場合には溶接または連結筋折曲工法による事ができる。(図3-1) 筏ユニオンのラップ長は、(土木150mm以上：建築250mm以上)とする。
- 間詰砕石の充填** 間詰砕石の充填は最大密度が得られるよう砕石を要所に小運搬してコマ型ブロックの間隙に投入して締め固める。締め固めには、パール、鉄棒、電動ピック、パイプレータ等の道具を用いて行う。根切り床と円錐部下端周辺は間詰砕石の充填が不足がちとなるから入念に行なう。

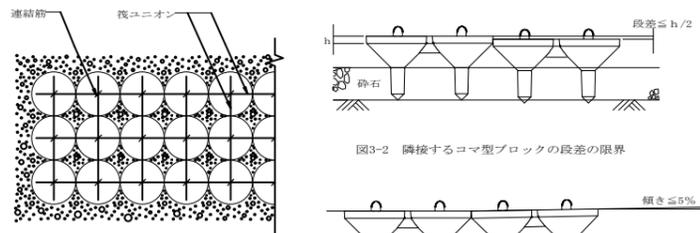


図3-1 筏ユニオンの配置

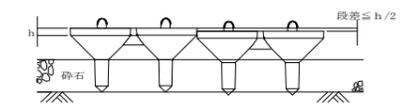


図3-2 隣接するコマ型ブロックの段差の限界

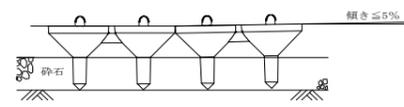


図3-3 隣接するコマ型ブロックの傾きの限界

## 4. 特殊施工法

### 4-1 曲線部の施工

曲線部の施工に当たっては、基礎伏せの形態及びその組み合わせを考慮する。この場合筏ユニオンは、接続、オーバーラップ補強を行う。

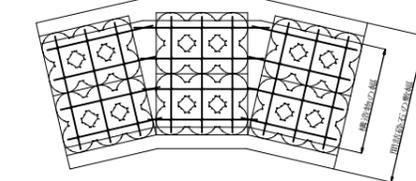


図4-1 割り付け間にコマ型ブロックを敷設する間隔がない場合

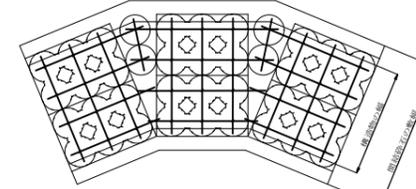


図4-2 割り付け間にコマ型ブロックを部分的に敷設する間隔がある場合 (同型のコマ型ブロックを使用する)

### 4-2 砕石まきだし工法

足場の軟弱な地盤にコマ型ブロックを敷設する場合は、コマ型ブロックの脚部先端まで掘り下げ、脚部長さ分(H×1/2)まで砕石をまきだし水平にならした後に施工する。

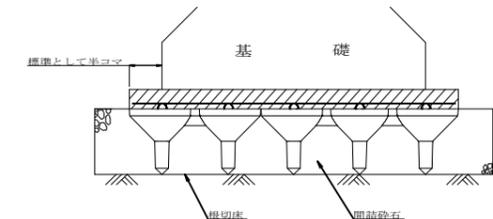


図4-3 コマ型ブロック脚部先端まで砕石をまき出した例

### 4-3 二層工法

二層工法は、下図を参照として施工する。

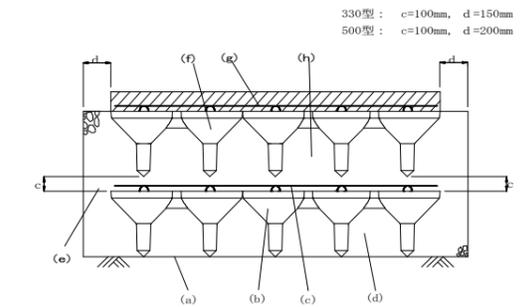


図4-4 コマ型ブロック二層工法の例並びに施工順序

## 5. 検査・試験

### 製品検査

検査試験方法は、(財)日本建築センター コマ型コンクリートブロックを用いた地盤改良工法「トップベース工法」による。

### 間詰砕石締め固め試験

間詰砕石が適切に充填されていることを確認する試験

■有, □無,

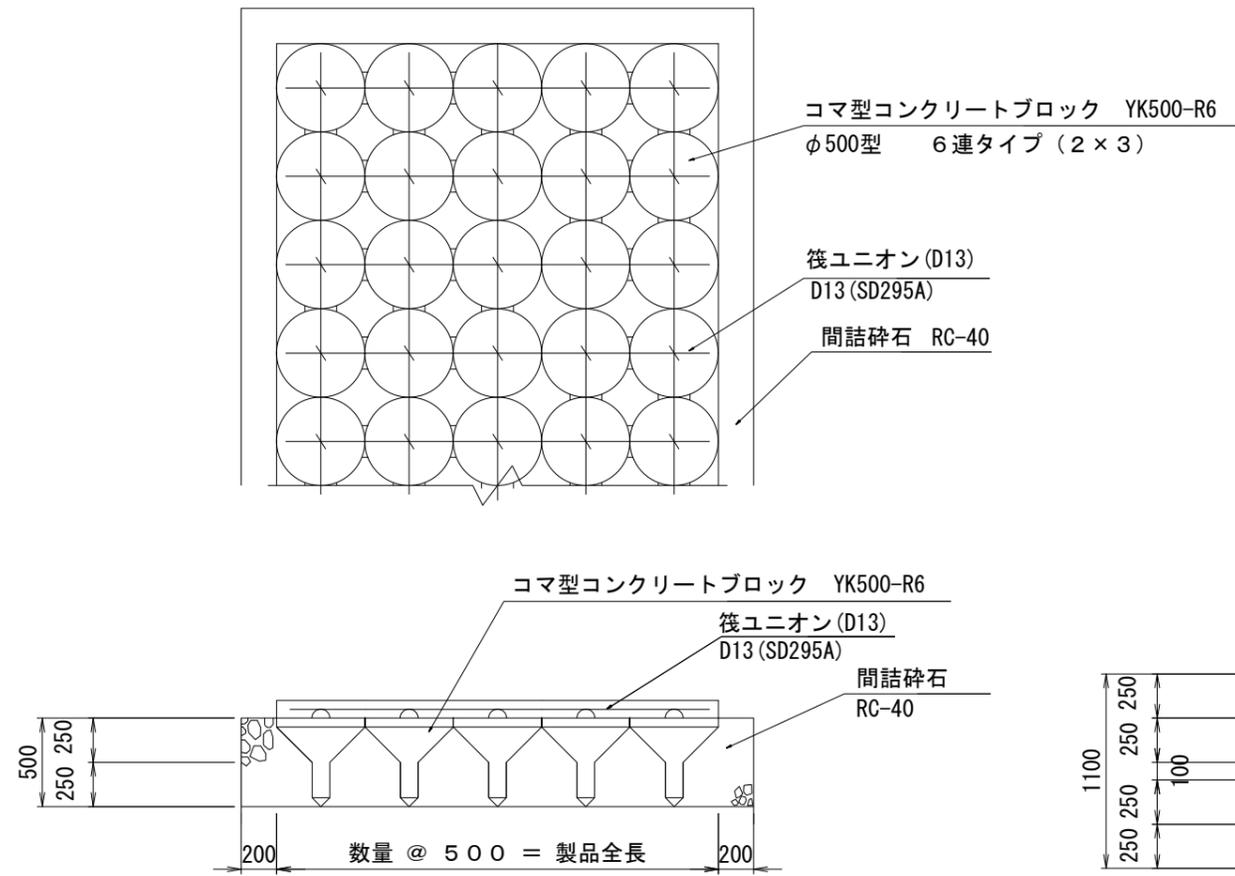
## 6. 施工指導

施工においては、必ずトップベース工法施工管理技士の資格を有する施工指導員の指示の下、もしくは事前講習を受けた現場施工責任者の下で施工を行う。

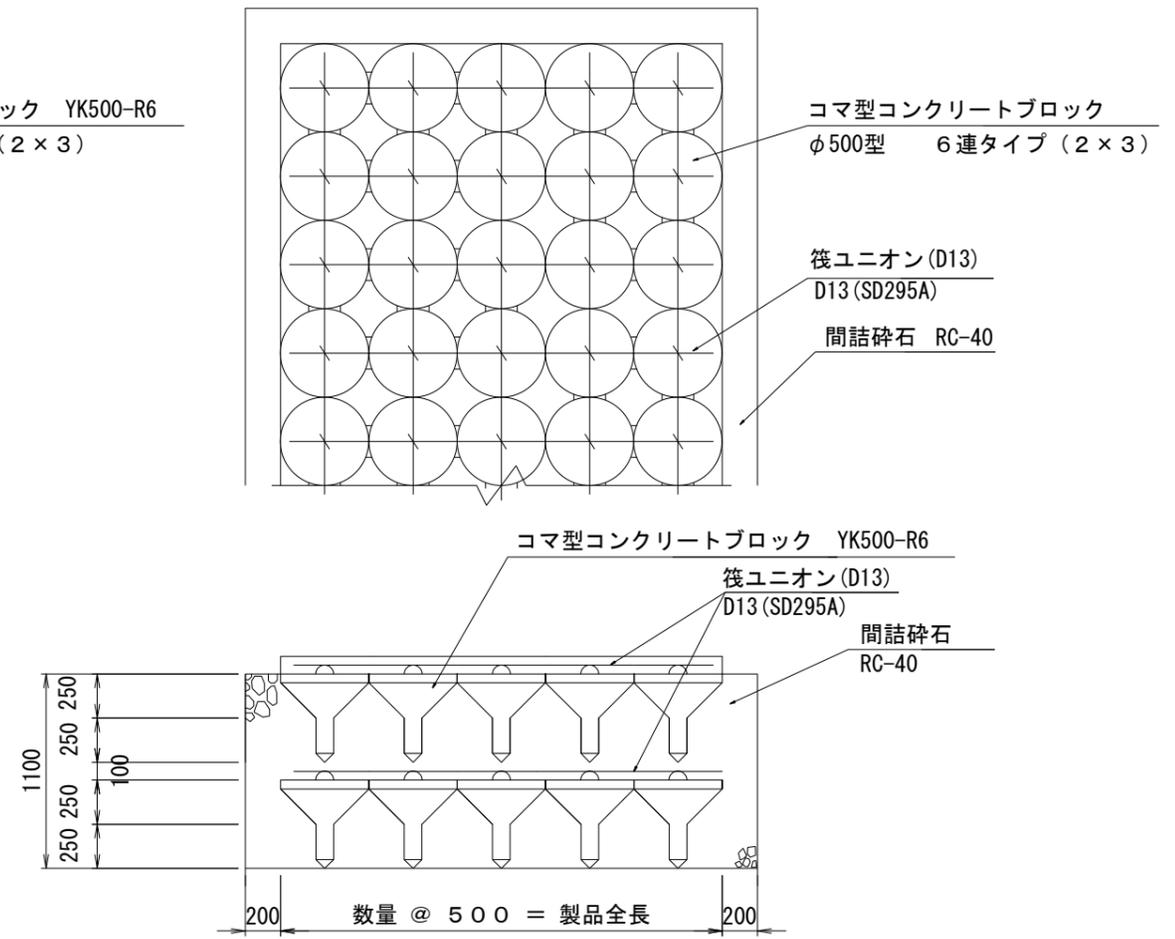
年度	令和6年度		
工事名	新三沢水ポンプ場築造工事		
図面名	擁壁基礎構造特記仕様書		
縮尺	-	図面番号	A-17
秩父広域市町村圏組合水道局			

# L型擁壁基礎標準図

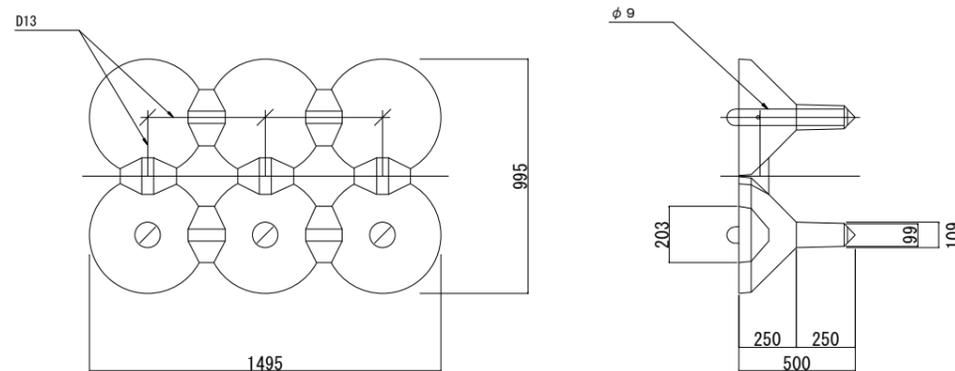
## コマ型コンクリートブロック 標準構造図



## コマ型コンクリートブロック 標準構造図



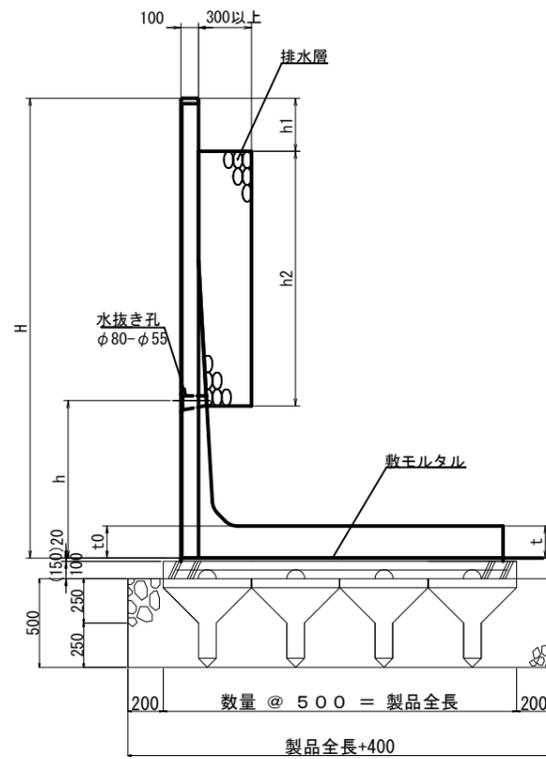
コマ型コンクリートブロック (500型-6連タイプ) 質量394kg



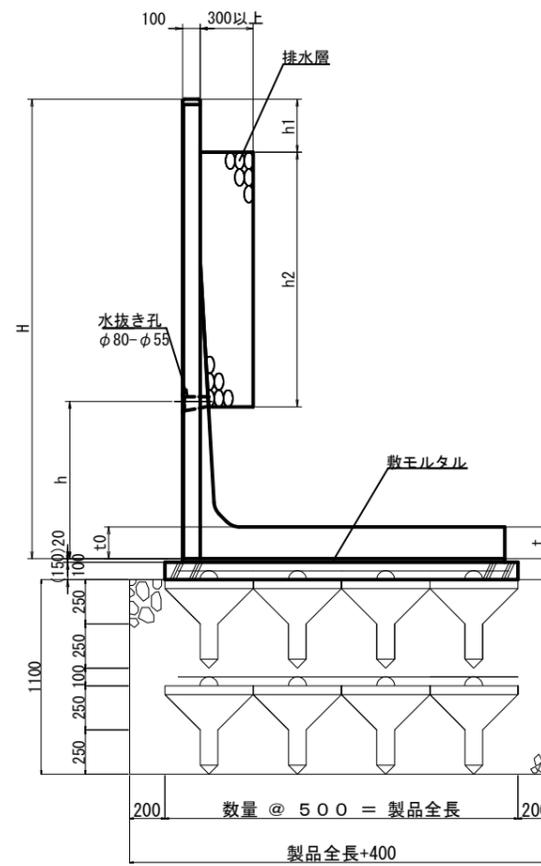
年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	L型擁壁基礎標準図		
縮尺	A1 : S=1/20 A3 : S=1/40	図面番号	A-18
秩父広域市町村圏組合水道局			

# L型擁壁構造図

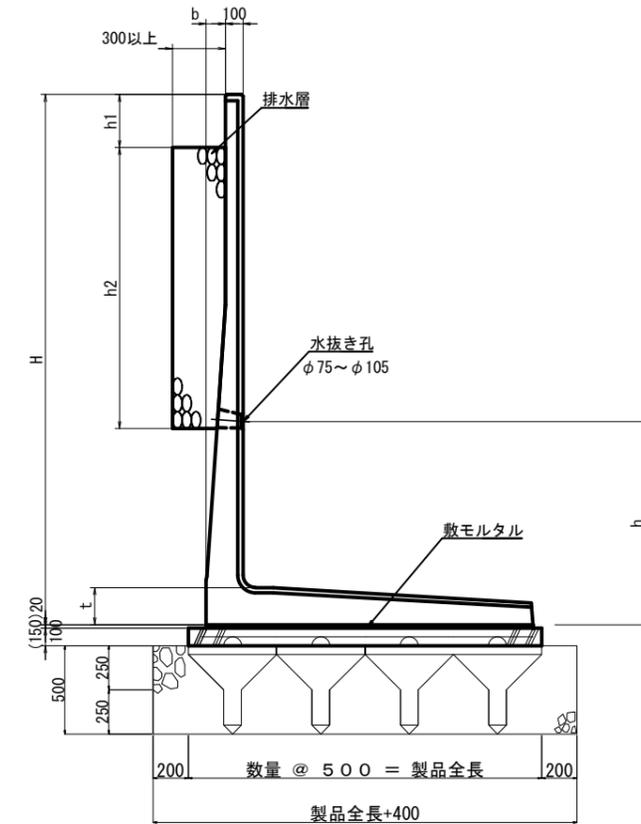
L型擁壁構造図  
H1000~H1100



L型擁壁構造図  
H2000~H3000



逆L型擁壁構造図  
H=800~2100



L型擁壁寸法表

擁壁高	寸法表 (単位: mm)						
	H	B	h	t	t1	h1	h2
H1100	1,001~1,100	1,000	800	130	130	100	230
H1200	1,101~1,200	1,000	800	130	130	300	130
H2000	1,901~2,000	1,500	890	150	150	300	840
H2300	2,201~2,300	1,700	890	180	180	300	1,140
H2400	2,301~2,400	1,700	890	180	180	300	1,240
H2600	2,501~2,600	1,825	890	180	180	300	1,440

L型擁壁基礎配列表

擁壁高	コマ基礎配列	全長 (m)
H=1.10	500型 1層 2列	1.00
H=1.20	500型 1層 2列	1.00
H=2.00	500型 2層 3列	1.50
H=2.30	500型 2層 4列	2.00
H=2.40	500型 2層 4列	2.00
H=2.60	500型 2層 4列	2.00

逆L型擁壁寸法表

擁壁高	寸法表 (単位: mm)						
	H	B	h	b	t	h1	h2
H800	701~800	520	600	20	100	100	140
H1100	1,001~1,100	690	800	60	150	100	240
H1200	1,101~1,200	740	800	60	150	300	140
H1300	1,201~1,300	840	800	60	150	300	240
H1500	1,401~1,500	990	800	60	150	300	440
H1600	1,501~1,600	1,090	800	60	150	300	540
H1800	1,701~1,800	1,110	950	110	180	300	590
H2000	1,901~2,000	1,310	950	110	180	300	790
H2100	2,001~2,100	1,410	950	110	180	300	890

逆L型擁壁基礎配列表

擁壁高	コマ基礎配列	製品全長 (m)
H=0.80	500型 1層 2列	1.00
H=1.10	500型 1層 2列	1.00
H=1.20	500型 1層 2列	1.00
H=1.30	500型 1層 2列	1.00
H=1.50	500型 1層 2列	1.00
H=1.60	500型 1層 3列	1.50
H=1.80	500型 1層 3列	1.50
H=2.00	500型 1層 3列	1.50
H=2.10	500型 1層 3列	1.50

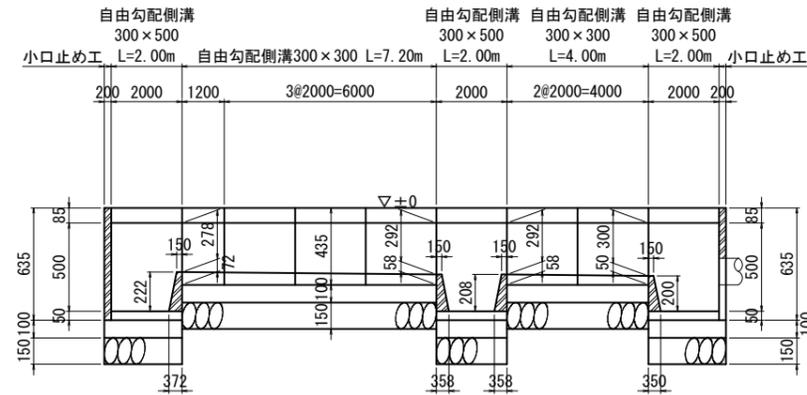
(注記)

基礎コンクリート・基礎砕石の( )内の数値は、縮尺 A1: S=1/20 A3: S=1/40 図面番号 A-19 擁壁全高2100mm以上の場合を示す。

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	L型擁壁構造図		
縮尺	A1: S=1/20 A3: S=1/40	図面番号	A-19
秩父広域市町村圏組合水道局			

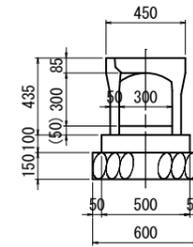
# 付帯工図

自由勾配側溝展開図 H=1:100  
V=1:20



自由勾配側溝構造図 A1: S=1:20  
A3: S=1:40

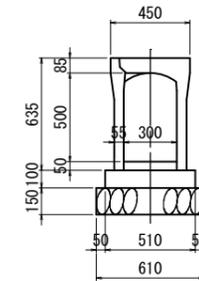
300×300



一式当たり材料表

名称	規格	単位	数量
自由勾配側溝	300×300×2000	本	5.0
自由勾配側溝	300×300×1200	本	1.0
コンクリート蓋	車道用・L=1.0m	枚	5.0
基礎コンクリート	18-8-25	m <sup>2</sup>	0.56
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	1.01
インパートコンクリート	18-8-25	m <sup>2</sup>	0.20

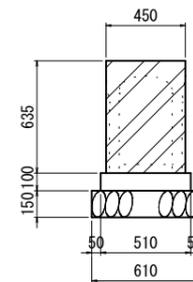
300×500



一式当たり材料表

名称	規格	単位	数量
自由勾配側溝	300×500×2000	本	3.0
グレーチング蓋	車道用・L=1.0m	枚	3.0
基礎コンクリート	18-8-25	m <sup>2</sup>	0.31
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	0.55
インパートコンクリート	18-8-25	m <sup>2</sup>	0.09
擦り付け工	18-8-25	m <sup>2</sup>	0.07

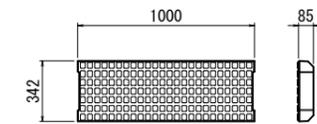
小口止め工



一箇所当たり材料表

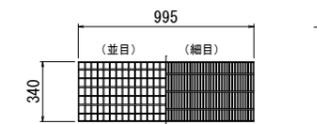
名称	規格	単位	数量
コンクリート工	18-8-25	m <sup>2</sup>	0.06
型枠工	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.69
基礎コンクリート	18-8-25	m <sup>2</sup>	0.01
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	0.02

コンクリート蓋



参考質量：64kg/枚

グレーチング蓋



参考質量  
車道用並目：24kg/枚  
車道用細目：35kg/枚

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	付帯工図		
縮尺	図示	図面番号	A-20
秩父広域市町村圏組合水道局			



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 2022年度版

1-1 基本事項

§1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従う。また本標準図に記載なき場合は、日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2021)」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

2-1 鉄筋の表示記号

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び異形鉄筋は下表による。

記号	○	△	×	◇	●	○	△	◇	●	○	△	◇	●	○	△	◇	●
呼び径 d	310	315	316	318	322	325	328	332	335	338	341	342	343	344	345	346	347
異形径 D	11	14	19	22	26	29	33	37	40	42	47						

○フックのない場合  
○フックのある場合  
○本数に差がある場合  
○縦横式継手表示  
○ガス圧接、溶接継手表示

2-2 鉄筋の折り曲げ

柱、基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折り曲げ寸法

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5(2018)」に準拠

鉄筋の呼び径	コンクリートの強度	定着長さ		重ね継手の長さ	
		上向き	下向き	上向き	下向き
18	24	15d	15d	15d	15d
21	24	15d	15d	15d	15d
24	24	15d	15d	15d	15d
27	24	15d	15d	15d	15d
30	24	15d	15d	15d	15d
33	24	15d	15d	15d	15d
36	24	15d	15d	15d	15d
39	24	15d	15d	15d	15d
42	24	15d	15d	15d	15d
45	24	15d	15d	15d	15d
48	24	15d	15d	15d	15d
51	24	15d	15d	15d	15d
54	24	15d	15d	15d	15d
57	24	15d	15d	15d	15d
60	24	15d	15d	15d	15d
63	24	15d	15d	15d	15d
66	24	15d	15d	15d	15d
69	24	15d	15d	15d	15d
72	24	15d	15d	15d	15d
75	24	15d	15d	15d	15d
78	24	15d	15d	15d	15d
81	24	15d	15d	15d	15d
84	24	15d	15d	15d	15d
87	24	15d	15d	15d	15d
90	24	15d	15d	15d	15d

2-4 継手一般

1. ガス圧接、溶接継手
2. 機械式継手
3. 重ね継手 (横、スラブ筋を除く)

2-5 鉄筋のフック

1. あばら筋及び帯筋
2. 横突の鉄筋
3. 柱及び梁 (基礎を除く) の出筋部分の鉄筋 (下図参照)

2-6 鉄筋のあき

鉄筋のあきはaは原則として下記による。

呼び名の数値dの1.5倍以上  
棒端の最大寸法の1.25倍以上  
○鉄筋径が異なる場合は大きい方による。  
○二段階のあきは1.5dとする。

鉄筋に対するコンクリートの設計が厚さd及び最大あきbによる。

部名	あき	あきb
土に埋しない部分	1.5d以上	1.5d以上
土に埋する部分	1.5d以上	1.5d以上

2-7 かぶり厚さ

1. ( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。  
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性及び有効な仕上げるあきを示す。  
3. ※1 高圧・高工法に用い、工事監督者の承認で10%減らすことができる。  
4. ※2 質量コンクリートの場合は、これに10%加算する。  
5. 柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。

3-1 主筋の継手

ガス圧接、溶接、機械式継手

3-2 主筋の定着

鉄筋の定着は設計による。

3-3 帯筋

帯筋は設計による。

3-4 副帯筋

副帯筋は設計による。

3-5 外柱

外柱の鉄筋は設計による。

3-6 中柱

中柱の鉄筋は設計による。

3-4 補助筋

補助筋は設計による。

3-5 柱のコンパウンド補強

コンパウンド補強は設計による。

3-6 外柱

外柱の鉄筋は設計による。

3-7 中柱

中柱の鉄筋は設計による。

3-8 あばら筋

あばら筋は設計による。

3-9 副あばら筋

副あばら筋は設計による。

3-10 鉄筋の折り曲げ及び定着

鉄筋の折り曲げ及び定着は設計による。

3-11 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号は設計による。

3-12 鉄筋の断面

鉄筋の断面は設計による。

4-4 補助筋

補助筋は設計による。

4-5 小梁及び片持梁

小梁及び片持梁の鉄筋は設計による。

4-6 基礎梁及び基礎小梁

基礎梁及び基礎小梁の鉄筋は設計による。

4-7 梁の貫通補強

梁の貫通補強は設計による。

4-8 鉄筋の折り曲げ及び定着

鉄筋の折り曲げ及び定着は設計による。

4-9 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号は設計による。

4-10 鉄筋の断面

鉄筋の断面は設計による。

4-11 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号は設計による。

4-12 鉄筋の断面

鉄筋の断面は設計による。

5-2 継手

継手は設計による。

5-3 片持ちスラブ

片持ちスラブの鉄筋は設計による。

5-4 補強筋

補強筋は設計による。

5-5 定着及び継手

定着及び継手は設計による。

5-6 壁

壁の鉄筋は設計による。

5-7 壁配筋

壁配筋は設計による。

5-8 定着及び継手

定着及び継手は設計による。

5-9 壁配筋

壁配筋は設計による。

5-10 定着及び継手

定着及び継手は設計による。

7-2 杭基礎

杭基礎の鉄筋は設計による。

7-3 べた基礎

べた基礎の鉄筋は設計による。

7-4 基礎と基礎梁

基礎と基礎梁の鉄筋は設計による。

8-1 階段

階段の鉄筋は設計による。

8-2 土間コンクリート

土間コンクリートの鉄筋は設計による。

8-3 打増し補強

打増し補強の鉄筋は設計による。

8-4 増築予定

増築予定の鉄筋は設計による。

8-5 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号は設計による。

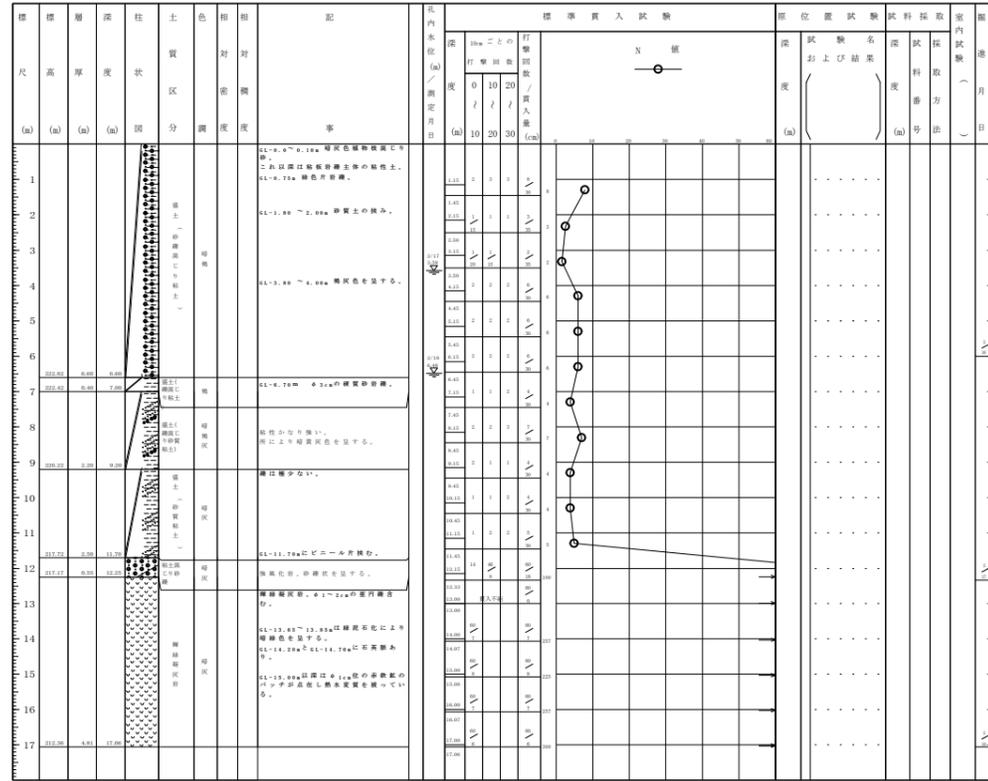
8-6 鉄筋の断面

鉄筋の断面は設計による。

年度	令和6年度
工事名	新三沢水ポンプ場築造工事
図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図
縮尺	— 図面番号 S-02
秩父広域市町村圏組合水道局	

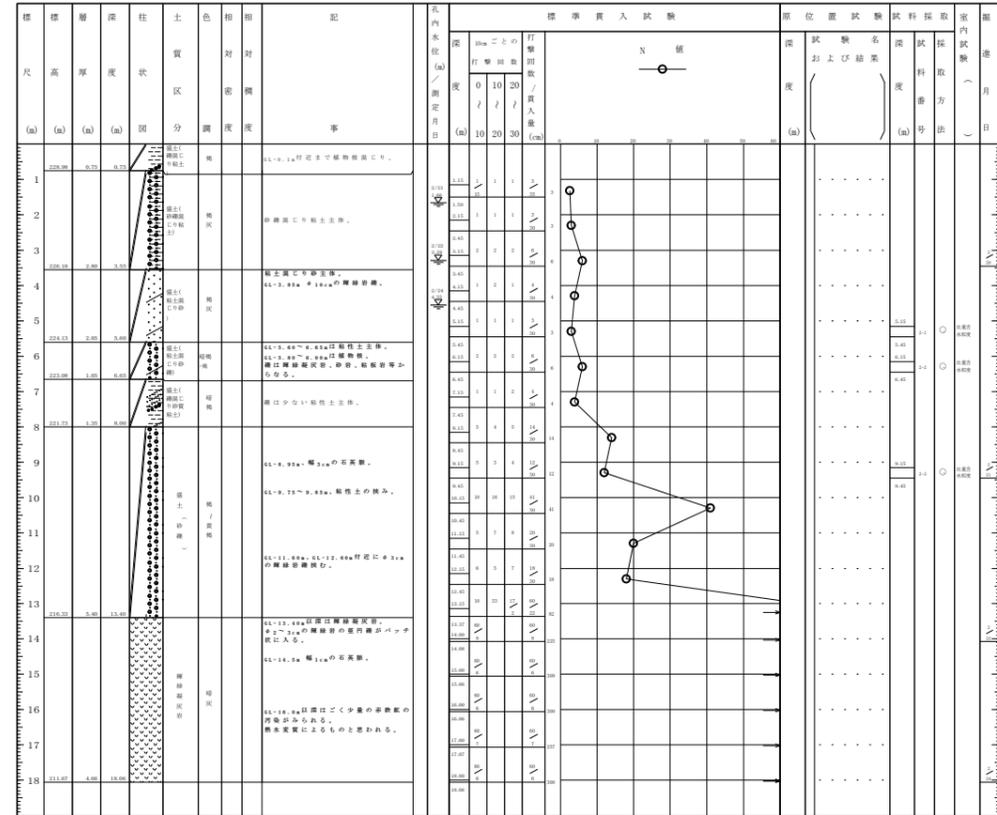
ボーリング柱状図  
(NO.1)

調査名		新三沢送水ポンプ場用地地質調査業務委託		ボーリング No.				
事業・工事名		新三沢送水ポンプ場用地地質調査業務委託		シート No.				
ボーリング名	No. 1	調査位置	秩父市振谷地内		北緯	36° 1' 44.91593"		
先注機関	秩父広域市町村圏組合水道事業		調査期間	令和 5年 2月 16日 ~ 5年 2月 18日		東経	139° 7' 25.63841"	
調査業者名	株式会社地質調査センター		主任技師	原正之	現場代理人	原正之	コア認定者	滝沢 健一
ボーリング責任者	丸山 誠		試錐機	YBM-05-DA-2		ハンマー	落下用器具	
エンジン	ヤンマー NFD-10		ポンプ	丸山 MS332		使用種別		
孔口標高	H=+229.42m	方位	N		使用種別			
総掘進長	17.06m							

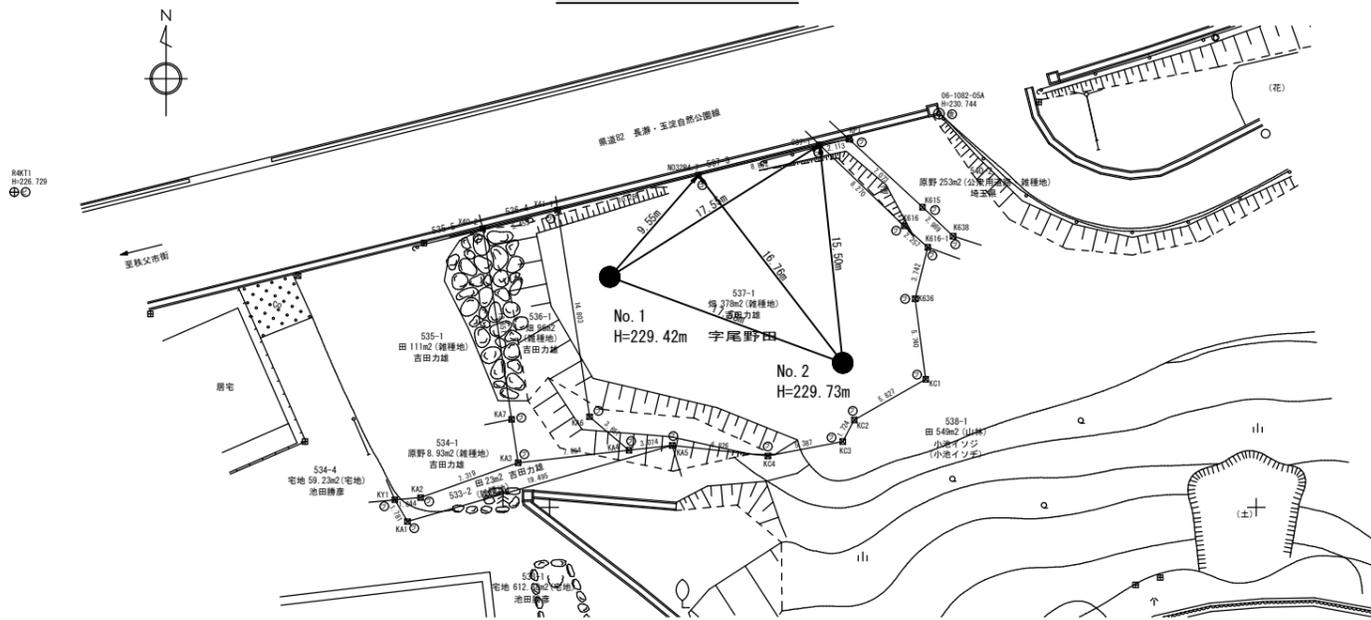


ボーリング柱状図  
(NO.2)

調査名		新三沢送水ポンプ場用地地質調査業務委託		ボーリング No.				
事業・工事名		新三沢送水ポンプ場用地地質調査業務委託		シート No.				
ボーリング名	No. 2	調査位置	秩父市振谷地内		北緯	36° 1' 44.72223"		
先注機関	秩父広域市町村圏組合水道事業		調査期間	令和 5年 2月 20日 ~ 5年 2月 24日		東経	139° 7' 26.29884"	
調査業者名	株式会社地質調査センター		主任技師	原正之	現場代理人	原正之	コア認定者	滝沢 健一
ボーリング責任者	丸山 誠		試錐機	YBM-05-DA-2		ハンマー	落下用器具	
エンジン	ヤンマー NFD-10		ポンプ	丸山 MS332		使用種別		
孔口標高	H=+229.73m	方位	N		使用種別			
総掘進長	18.06m							



調査位置図



年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	ボーリング柱状図		
縮尺	—	図面番号	S-03
秩父広域市町村圏組合水道局			

# 構造特記仕様書・地業工事

地業名称：トップベース工法(コマ型基礎工法)-〔連結タイプ〕

## 1. 設計条件

設計荷重	長期 55 kN/m <sup>2</sup>	地質	粘性土地盤
地質調査	ボーリング調査	深度	

## 2. 材 料

2-1 コマ型コンクリートブロック 構造物として用いるコマ型コンクリートブロック（大和クレス楠・マイ独楽）は、330型、500型（連結タイプ）の二種類である。

■ 500型（連結タイプ）

□ 330型（連結タイプ）

個数  
6連コマ 100基  
4連コマ 2基

面積 15.2m<sup>2</sup>

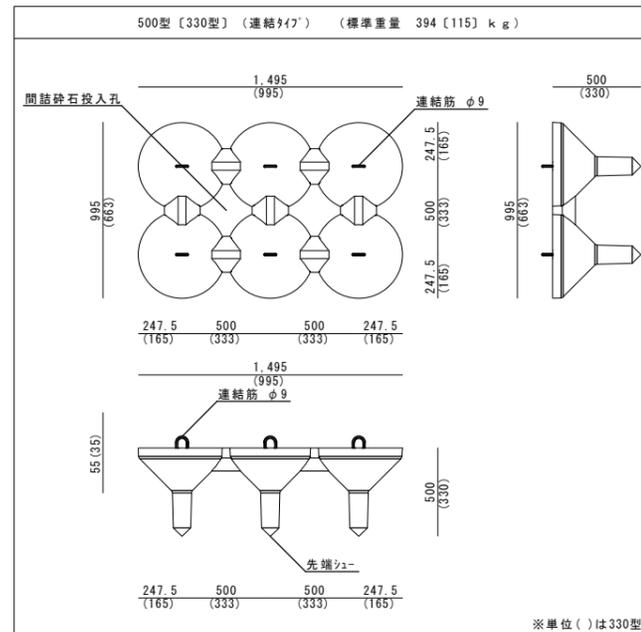


図 2-1 コマ型コンクリートブロックの形状寸法

連結筋：吊上げのためと単独タイプ併用時の鉄ユニオンを固定するための、コマ型コンクリートブロック上面に突起した円錐状の鉄筋

仕 様	コマ型コンクリートブロック	500型（連結タイプ）	φ9mm
鉄筋径	コマ型コンクリートブロック	330型（連結タイプ）	φ5mm

2-2 間詰砕石 間詰砕石は、原則として充填締め固めに有利な切り込み砕石 40~0mm（記号C-40）または、粒度調整砕石 40~0mm（記号M-40）、再生砕石 40~0mm（記号RC-40）を使用する。

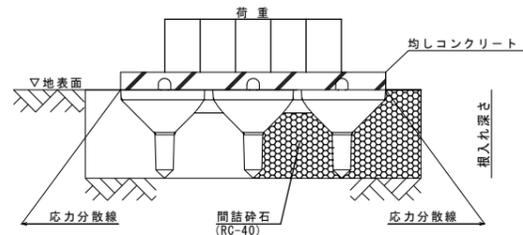


図 2-2 敷設断面図

## 3. 標準施工法

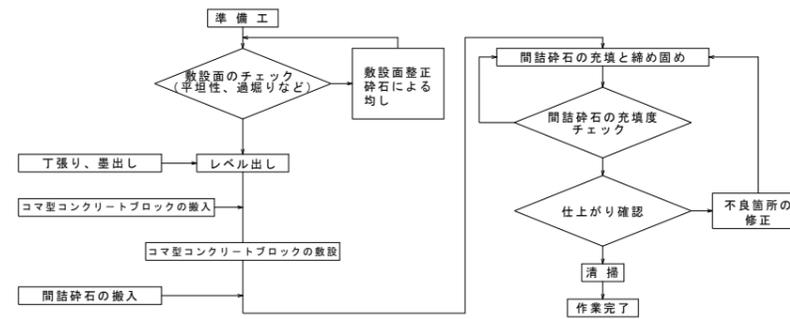


図 3-1 トップベース工法施工手順フローチャート

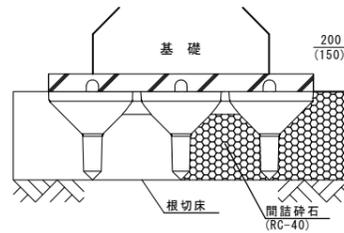


図 3-2 標準施工例

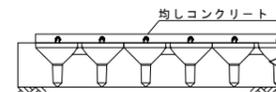
### 3-1 施工手順

(1) 位置決定

丁張りを設置し、正確にレベル出しを行い、コマ型コンクリートブロックの設置位置を決定する。

(2) 掘り方

標準掘り方は天端均しコンクリート下面よりコマ型コンクリートブロックのH(高さ)とし、一般的には500型で100mm、330型で50mm程度、砕石をまき出した後、振動コンパクターで締め固め、フラットな計画レベルを形成する。但し、現場状況により足場の軟弱な地盤にコマ型コンクリートブロックを敷設する場合には、500型で200mm、330型で100mmの砕石厚を要することもある。



(3) コマ型コンクリートブロックの敷設

丁張りに合わせてコマ型コンクリートブロックを敷設する。

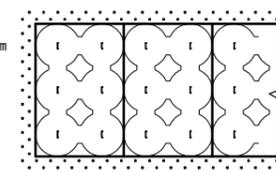


図 3 敷設図

(5) 間詰砕石の充填

間詰砕石の充填は最大密度が得られるよう砕石を要所に小運搬してコマ型コンクリートブロックの隙間に投入して締め固める。締め固めには、バール鉄棒、電動ピック、空圧ブローカー等の道具を用いて行う。根切り床と円錐部下端周辺は間詰砕石の充填が不足がちとなるから入念に行う。

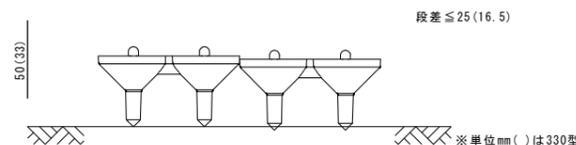


図 3-4 コマ型コンクリートブロックの段差の限界

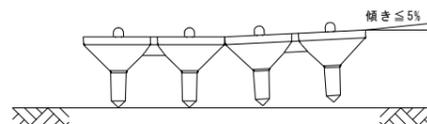


図 3-5 コマ型コンクリートブロックの傾きの限界

## 4. 特殊施工法

4-1 曲線部の施工

曲線部の施工に当たっては、基礎伏せの形態及びその組合わせを考慮する。

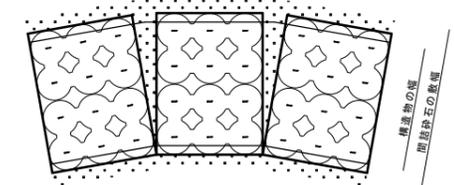


図 4-1 割り付け間にコマ型コンクリートブロックを敷設する間隔がない場合

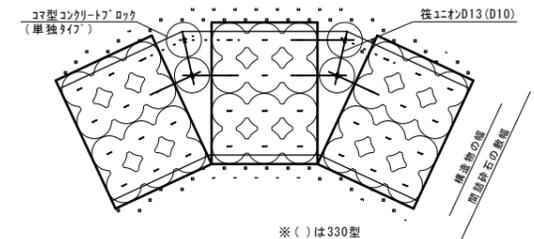
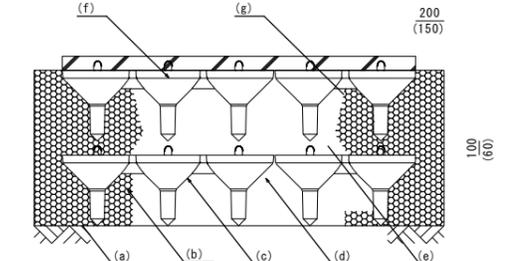


図 4-2 割り付け間にコマ型コンクリートブロックを部分的に敷設する間隔がある場合(同型のコマ型コンクリートブロックを使用する) この場合、鉄ユニオンは接続・オーバーラップ・補強などを行う。

4-2 二層工法

二層工法は、下図を参照として施工する。



(a) 根切り床	(e) 二層目砕石100mm(60mm)まきだし。
(b) 一層目砕石100mm(50mm)まきだし。	(f) 二層目コマ型コンクリートブロック敷設。
(c) 一層目コマ型コンクリートブロック敷設	(i) 二層目部分砕石充填締め固め。
(d) 一層目部分砕石充填締め固め。	

図 4-4 コマ型コンクリートブロック二層工法の例、並びに施工手順

## 5. 施工・試験

施工

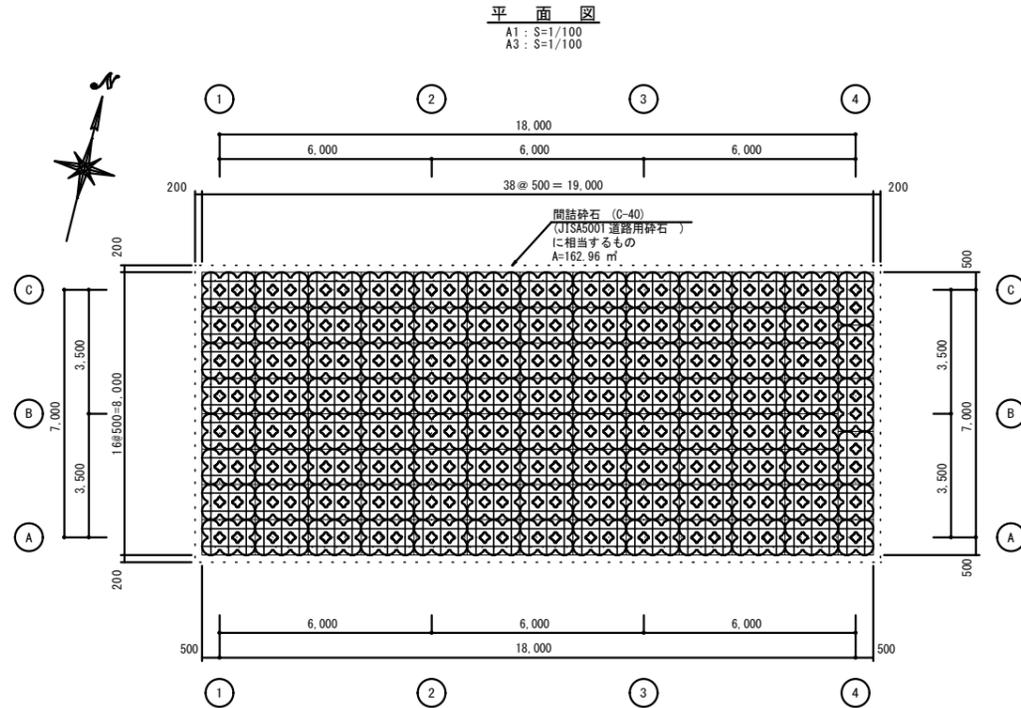
※ 施工は全国マイコマ工業会に加入する指定施工会社が施工する  
施工の品質確認はトップベース工法施工管理技士が行なう。

載荷試験

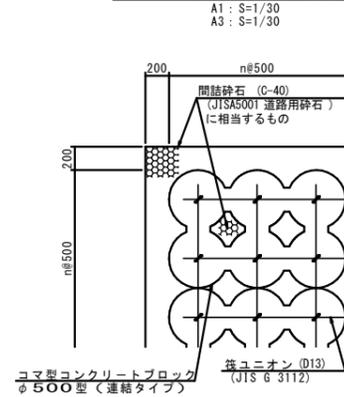
■ 有、 □ 無  
支持力確認のための載荷試験は、(社)地盤工学会基準(JGS 1521-2003)「地盤の平板載荷試験方法」に準ずる。

年度	令和6年度		
工事名	新三沢水ポンプ場築造工事		
図面名	建屋基礎構造特記仕様書		
縮尺	—	図面番号	S-04
秩父広域市町村圏組合水道局			

# 基礎詳細図

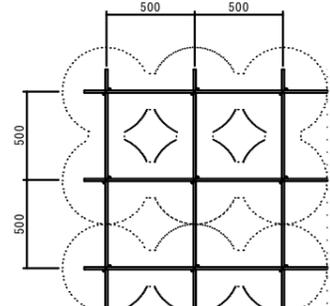


φ500型 端部標準平面詳細図



鉄筋加工図

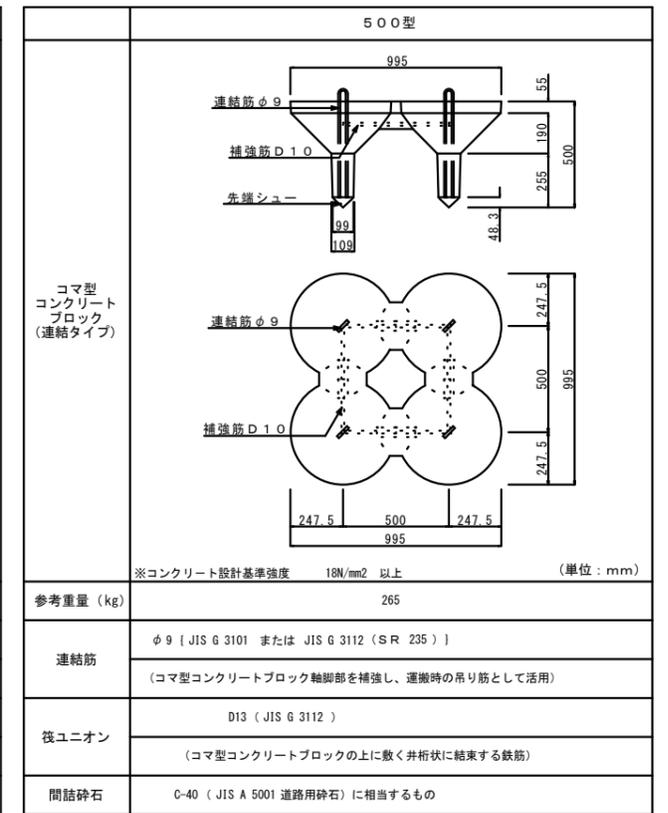
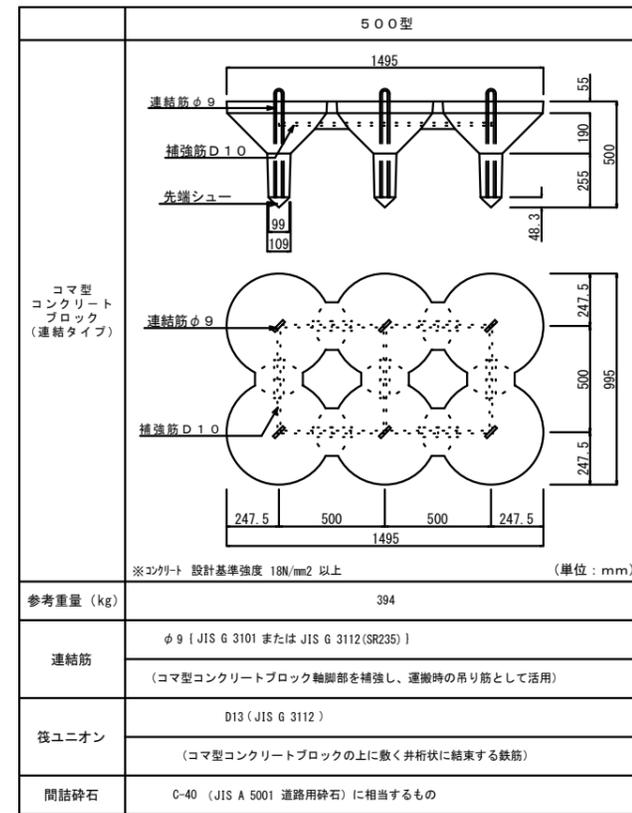
鉄ユニオン D13 (JIS G 3112)



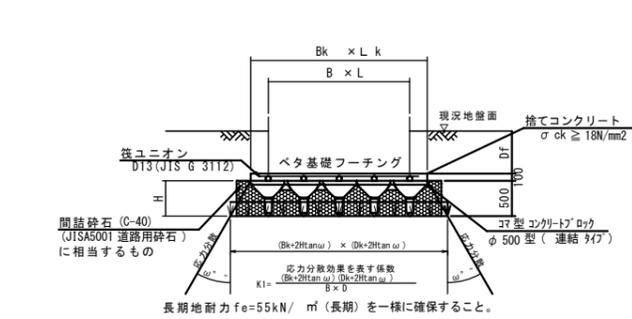
特記事項

1. 連結筋を鉄ユニオン (D13) にて接続すること。

コマ型コンクリートブロック仕様図



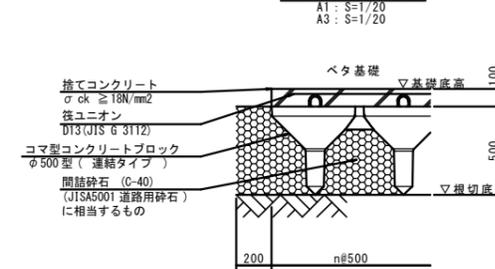
暫定設計断面図



コマ型コンクリートブロックリスト

基礎名称	基礎形状 (mm)		コマ基礎形状 (mm)		根入れ (mm) Df	コマ数 (1ヶ所当り)	
	B	L	Bk	Lk		6連 (基)	4連 (基)
ベタ基礎	7640	18640	8000	19000	0	100	2

端部断面詳細図



材料表

品名	規格	数量	基	計算式
コマ型コンクリートブロック	φ500型 (6連型)	100	個	参考質量 = 395kg
	φ500型 (4連型)	2	個	参考質量 = 265kg
鉄ユニオン	D13 (JIS G 3112)	605.0	kg	608 × 0.995
間詰砕石	C-40 (JIS A 5001) 道路用砕石に相当するもの	64.62	m³	8.400 × 19.400 × 0.500 - 608 × 0.02774

(注記) 現場状況に応じて、必要がある場合はコマ型コンクリートブロックの配置及び単独コマへの変更を行うこと。

年度	令和6年度		
工事名	新三沢水ポンプ場築造工事		
図面名	基礎詳細図		
縮尺	図示	図面番号	S-05
秩父広域市町村圏組合水道局			

柱リスト A1: S=1:50 A3: S=1:100 Fc=24N/mm<sup>2</sup>

符号	C1	C2	C3
断面			
主筋	X: 3 - D22 Y: 3 - D22	3 - D22 3 - D22	4 - D22 3 - D22
フープ	□ - D13 #100	□ - D13 #100	□ - D13 #100

大梁リスト A1: S=1:50 A3: S=1:100 Fc=24N/mm<sup>2</sup>

階	符号	G1	G2	G11	G12
R	位置	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面				
	上端筋	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22
	下端筋	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22
	スタールップ	2-D13 #200	2-D13 #200	2-D13 #200	2-D13 #200
F	位置	全断面	全断面	全断面	全断面
	断面				
	上端筋	4 - D22	3 - D22	4/1 - D22	4/1 - D22
	下端筋	4 - D22	3 - D22	4/1 - D22	4/1 - D22
	スタールップ	2-D13 #200	2-D13 #200	2-D13 #200	2-D13 #200

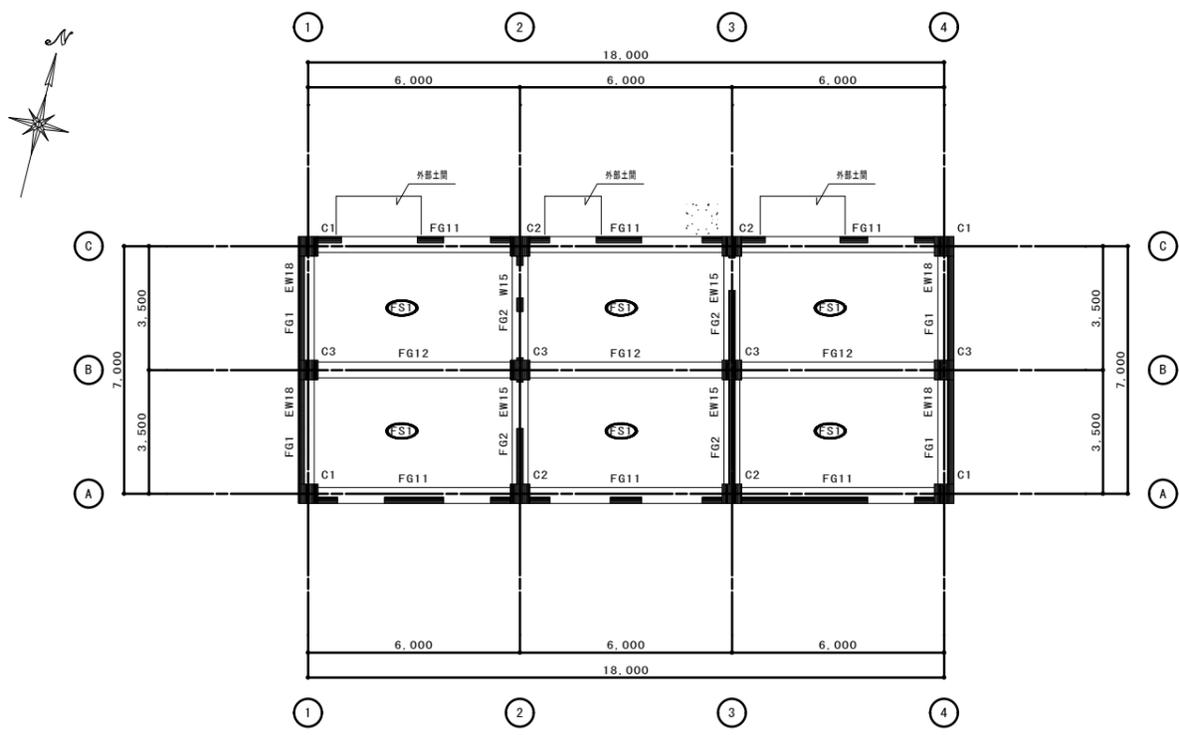
壁リスト A1: S=1:30 A3: S=1:60

符号	W18	EW18	W15	EW15
断面 (水平断面図)				
縦筋	D10#200 (フック)	D10#200 (フック)	D10#150 (フック)	D10#150 (フック)
横筋	D10#200 (フック)	D10#200 (フック)	D10#150 (フック)	D10#150 (フック)
開口補強筋	縦	2-D13	2-D13	2-D13
	横	2-D13	2-D13	2-D13
	斜め	2-D13	2-D13	2-D13
幅止筋	D10#1000	D10#1000	D10#1000	D10#1000

床リスト

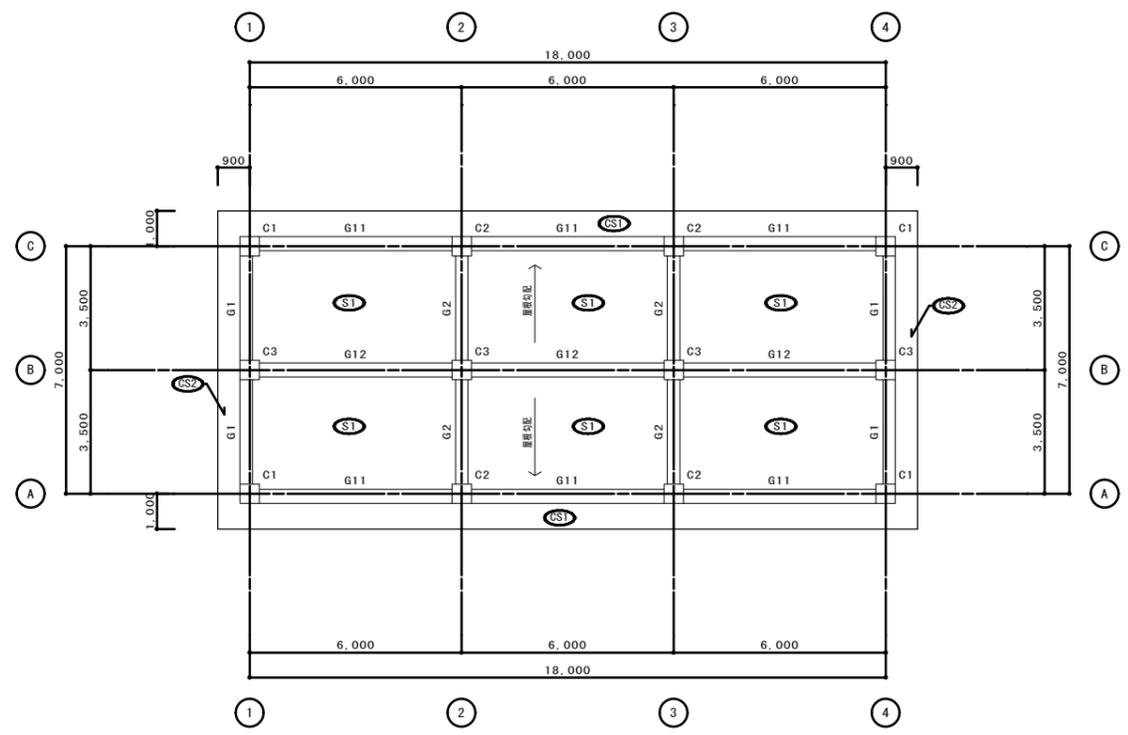
符号	厚さ	位置	短辺方向配筋	長辺方向配筋	備考
S1	150	上	D10, 13 #200	D10, 13 #200	屋根
		下	D10 #200	D10 #200	
CS1	150	上	D10, 13 #200	D10, 13 #200	屋根
		下	D10 #200	D10 #200	
CS2	150	上	D10, 13 #200	D10, 13 #200	屋根
		下	D10 #200	D10 #200	
FS1	250	上	D13 #200	D13 #200	基礎
		下	D13 #200	D13 #200	
土間	150	上	D10 #200	D10 #200	
		下	D10 #200	D10 #200	

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	RCリスト		
縮尺	図示	図面番号	S-06
秩父広域市町村圏組合水道局			



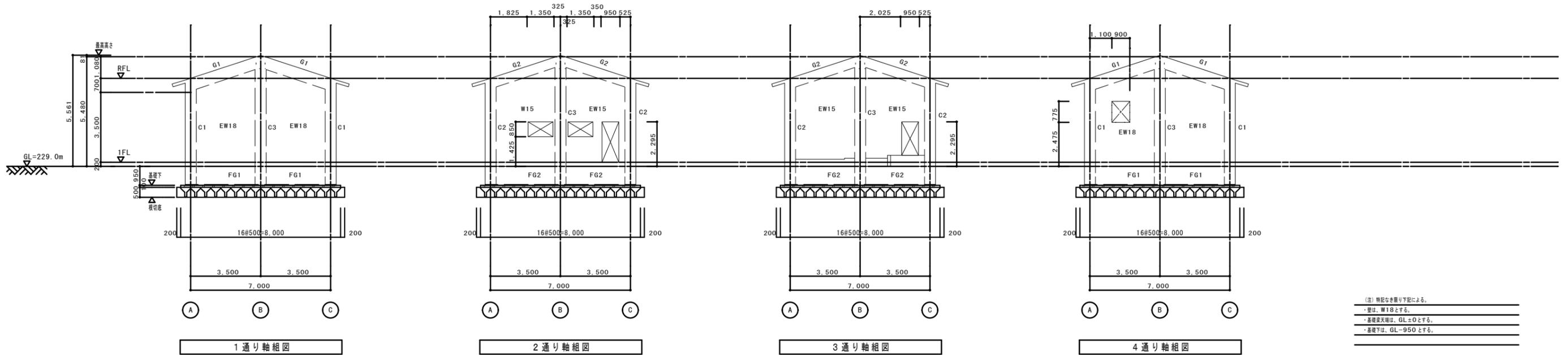
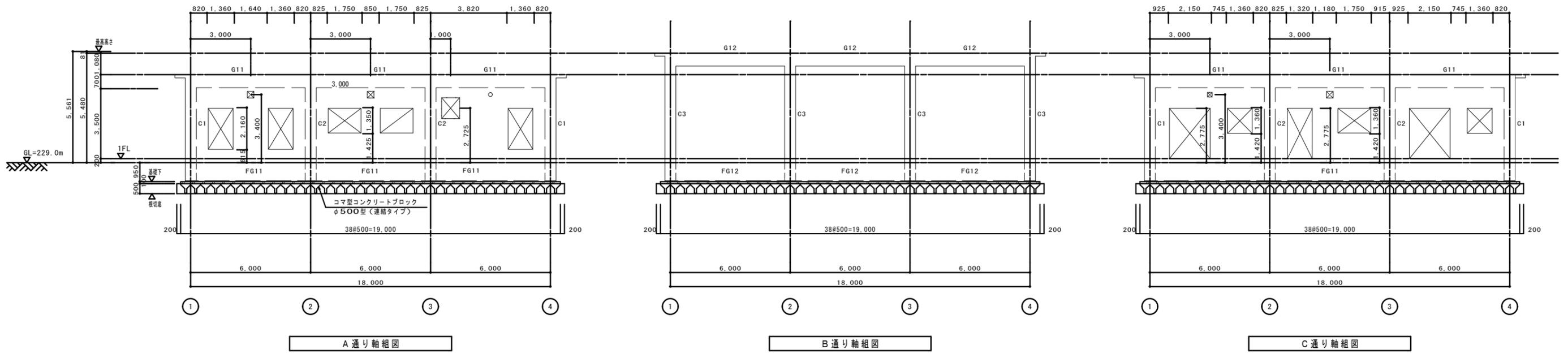
基礎伏図

(注) 特記なき限り下図による。  
 ・壁は、W18とする。



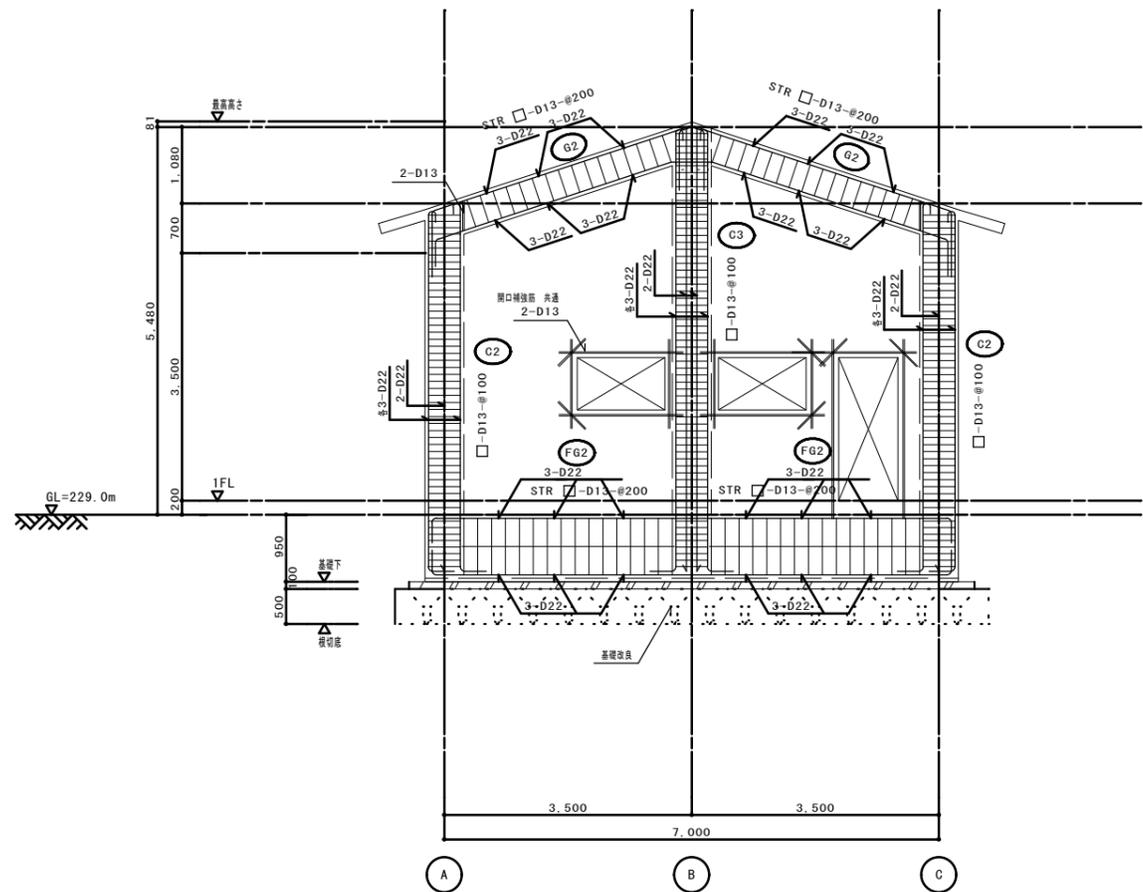
屋根伏図

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	基礎伏図・屋根伏図		
縮尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	図面番号	S-07
秩父広域市町村圏組合水道局			

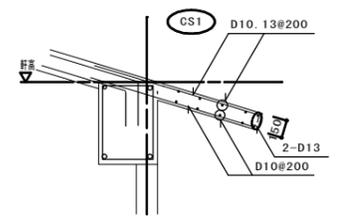


(注) 特記なき限り下記による。  
 ・壁は、W18とする。  
 ・基礎及天板は、GL±0とする。  
 ・基礎下は、GL-950とする。

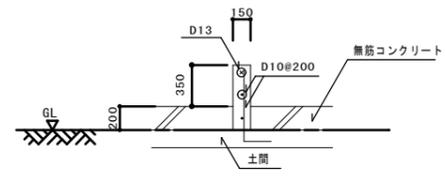
年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	軸組図		
縮尺	A1: S=1/100	図面番号	S-08
秩父広域市町村圏組合水道局			



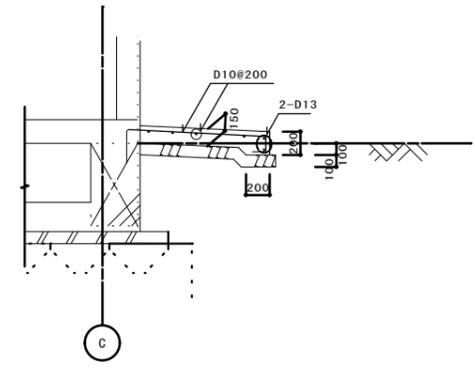
2 通り 架構詳細図 A1: S=1/50  
A3: S=1/100



ひさし詳細 A1: S=1/30  
A3: S=1/60

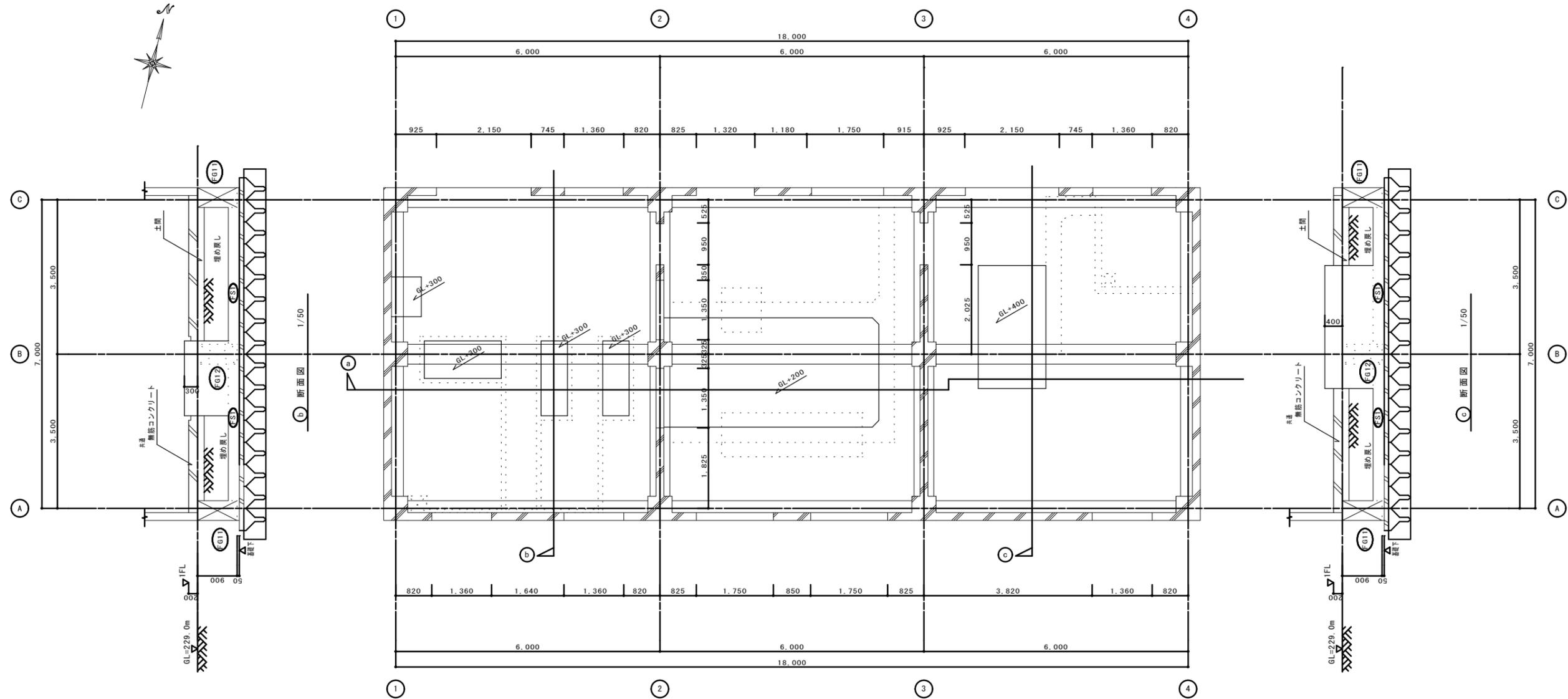


防液堤 詳細 A1: S=1/30  
A3: S=1/60



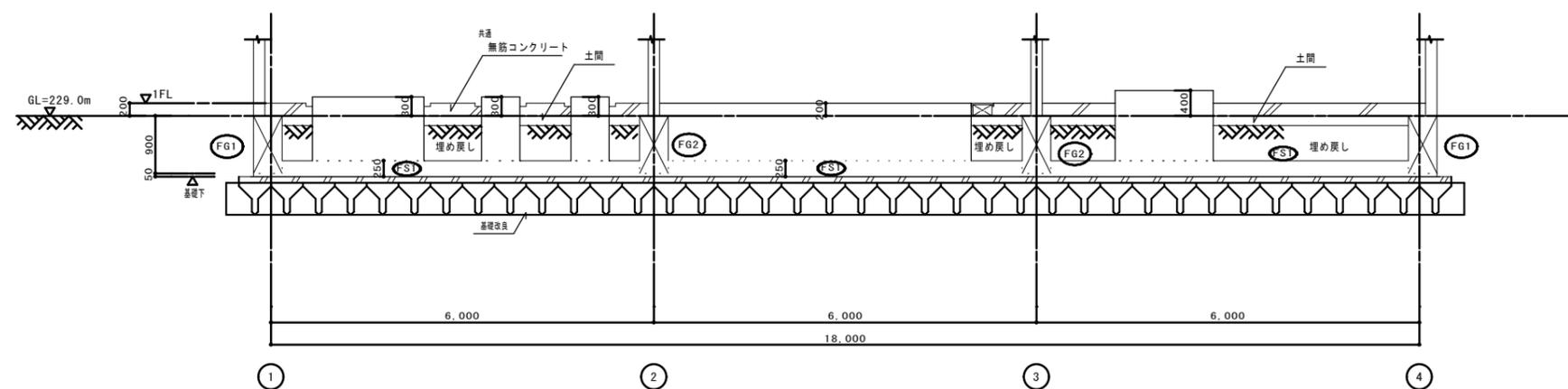
外部土間 詳細図 A1: S=1/30  
A3: S=1/60

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	架構詳細図・雑詳細図		
縮尺	図示	図面番号	S-09
秩父広域市町村圏組合水道局			



機械基礎伏図

(注) 特記なき限り下記による。  
 ・は、GL+00 = コンクリート高さを示す。  
 ・GL+200 = FLとする。



a 断面図

(注) 特記なき限り下記による。  
 ・埋め戻し材は、砂質土とする。

(注記)  
 ※1. 機械基礎寸法は、機械設備工事と調整の上決定すること。  
 ※2. 機械基礎は機械設備工事の所掌区分とする。

年度	令和6年度		
工事名	新三沢送水ポンプ場築造工事		
図面名	機械基礎伏図・断面図		
縮尺	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100	図面番号	S-10
秩父広域市町村圏組合水道局			